

ART

Museum
and
Theatre
Information
2013.7-9

ミュージアム+シアター最新情報

NEWS

アート・ニュース・トーキョー

TOKYO

東京⇄江戸 今昔ストーリー

書家 紫舟

A Story of Today and the Past
Calligrapher Sisyu

東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum

東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air architectural Museum

東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo

東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum

東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

トーキョーワンダーサイト

Tokyo Wonder Site



トーキョー・アート・
ナビゲーション携帯サイト
tokyoartnavi.jp

ART

Museum
and
Theatre
Information
2013.7-9

ミュージアム+シアター最新情報

NEWS

アート・ニュース・トーキョー

TOKYO



東京都写真美術館にて。書家、紫舟さん
The Calligrapher Sisyu, at the Tokyo Metropolitan Museum of Photography

書知らない人にも書の魅力・感動が伝わる表現を

My work aims to be an expression conveying the allure and inspiration of calligraphy to people unfamiliar about calligraphy.

書家としての活動の転機となったのは、2004年、現代美術家の嶋本昭三さんに招かれて、初めて書のライブパフォーマンスを行い、アートの域に足を踏み入れたことでした。翌2005年のヴェネチア・ビエンナーレでの関連企画に展示とパフォーマンスで参加できることとなり、3カ月かけて、で



東京都写真美術館、コレクション展の会場にて

きうる最高の準備をして臨みました。ここでもたくさんの拍手をいただき、とても嬉しかったのですが、同時に、思ってもみなかったモヤモヤした気持ちにも包まれてしまいました。その拍手は、アジアに日本という国があって、白い紙に黒い墨だけで書く文化があることへの拍手に感じられたからです。私がそれまで書について考え、伝えられるのではと思っていたものと、外国の人たちが感じ取ったものにはギャップがあった。大きな挫折感でした。「世界で通用するような表現ができるようになりたい。日本の文化や伝統を知らない人が観ても、書と愛でたときに湧き上がる感動を、同じように伝えられる表現をしたい。それにはどうしたらいいだろう」を原点到に、日本文化の魅力にアートという文脈に置き換えて伝えていくべく、活動の幅を広げてきました。以来、ときには「書家を超えている」と言

われながら作品を発表しています。書を鉄で立体物にし光をあてて影で文字の意志を表したシリーズを始めとして、ガラスで書を具現化し、光を反射させひだまりを生み出した

り、絵画や写真と書とを組み合わせた作品など、純粋な書の制作から一歩先といった作品をこれまでつくってきました。近年は3Dのメディアアートを発表し、フランスで受賞し、世界中で招待展示を繰り返しています。この作品は、天から書が降り注いできて、その文字に人が触れると、その言葉の意味のアニメーションに変化していきます。一つひとつの漢字がその意味にふさわしい動きや音で表され、そこに人の影が入ることでさらに展開していく構造で、お客さまもただ観るのではなく、自らが参加することで二度と同じ景色を見ることのできない作品を生み出すことができます。書というアナログな世界と最先端のデジタル技術とは、一見すれば対極の存在です。しかし3000年前、亀の甲羅や牛の骨に刻

む立体のメディアだった漢字が、やがて紙という平面になり、そして今、紙の上にあった文字がデジタルに置き換わるのが、自然な流れだと考えました。書もデジタルメディアとよい関係を結べるのではないのでしょうか。

メディアアートの制作は1年以上になることもしばしばで、徹底して話し合い、作り直しを重ねます。大変ですが、しっかりした思想と日本ならではの細かくていねいな作業でつくられた密度ある作品は、長く残ると信じています。

異なる分野の方と一緒に作品をつくる際には、まず感動したアーティストの作品との出会いがあります。そのうえで「全く新しいことができる」といいますね」と声をかけ、楽しみながら始まることが多いです。理想とするのは、俵屋宗達絵に本

書という伝統的なメディアと、デジタル技術の組み合わせ

阿弥光悦が書を入れて完成させた「鶴下絵三十六歌仙和歌巻」(17世紀、重要文化財)。二人の表現者が、気負わないやりとりのなかで楽しく制作するようすが、目に浮かぶような作品です。

今は写真にも関心があり、昨年も俳優の永瀬正敏さんの写真に書を入れる作品を制作しました。写真は書との相性が、とてもいいんです。今日拝見した「写真のエッセー五つのエレメント」展(7月7日〈日〉まで)でも、川



紫舟(Solitude)鉄、2007年

東京⇄江戸
今昔ストーリー
書家
紫舟

A Story of Today
and the Past
Calligrapher Sisyyu

Sisyyu

「文字に感情・表情を吹き込む」と評される表現力で、金属やガラス、メディアアートなどと積極的にコラボレーションしながら、書の魅力を世界に発信している紫舟さん。芸術家にとって美術館でさまざまなアーティストの作品に接する時間は、とても大切なもの。東京都写真美術館の展示を見ていただきながら、アートや「東京」の印象をうかがいました。

撮影協力：東京都写真美術館

Photo: Koji Honda (p.2-4)

Art spots recommended by Sisyu

紫舟さんのおすすめアートスポット

アートの文脈のなかで書を発表する紫舟さんに、創作意欲を刺激するアートと出会える東京のアートスポットを教えてくださいました。

Sisyu, who presents calligraphy in the context of art, tells us about some art spots in Tokyo where we can meet art that stimulates our creative motivation.

内倫子さんの作品を「この写真は気持ちいい空気感だなあ、優しい書と合いそうだな」などと考えながら観ていました。

同時代のアーティストにはすごく興味があります。高校生の頃、母に誰の絵が好きかを訊かれて「ロートレックと、誰々と……」と、美術の教科書に載っている画家の名前をいくつか挙げたところ、「それもいいね。でも、今生きている人たちの作品を見て、きちんと評価したり応援したりすることができるようになるのもいいんじゃない」と言われ「なるほど」と関心した記憶が今につながっているようです。とくに東京という街は、アーティストが多く集まっていることはもちろん、過去に誰かがやった表現では

同時代を生きる人たちが互いに影響し合って、新しい表現と一緒に生み出し、世界中の人に感動してもらいたいですね。



東京都写真美術館 2階ラウンジ

Participating in the collateral event at the 2005 Venice Biennale by exhibiting and performing my work was the turning point in my activities as a calligrapher. While I was pleased to receive a lot of applause on the occasion, at the same time I was also surrounded by an unexpected feeling of confusion. I felt that the applause was simply directed towards the Japanese cultural background. With the feeling that "I want

to be able to produce a world-class expression" as my

starting point, I have been expanding the range of my activities in order to convey the charm of Japanese culture whilst replacing it in the context of art.

I have had many opportunities to collaborate with artists from other genres, such as a series in which calligraphy is expressed in three dimensions as if it were treated like an iron plate. Recently, I

have also had increasing opportunities to present media art, which makes use of 3D technology.

When creating work with people from various fields, there is an encounter with the inspiring work by individual artists. Based on this context, collaboration often starts with me asking them, "Why don't we work together?" My ideal work is the one that combines

the calligraphy of Koetsu Hon'ami with the painting of Sotatsu Tawaraya.

I have a great interest in the artists today. Tokyo in particular is a city where not only many artists gather, but where new and original expressions not done by someone in the past, are always demanded and respected. There are numerous places such as museums and galleries for exhibiting work.

I would like to continue creating new expressions together with people living in the same era and influencing each other, whilst also cherishing meeting people, which is distinctive to Tokyo.

紫舟 Sisyu

6歳より書を始める。書の本場奈良で3年間研鑽を積んだのち、東京へ。2005年第51回ヴェネチア・ビエンナーレ関連企画展で展示、パフォーマンス。2010年NHK大河ドラマ「龍馬伝」題字で第5回手島右衛門賞受賞。2011年第54回ヴェネチア・ビエンナーレ関連企画展「Future Pass - From Asia to the World」に、チームラボとの映像作品を出品。2012年チームラボとの映像作品「世界はこんなにもやさしく、うつくしい」がフランス LAVAL VIRTUAL 2012にて設計芸術文化賞。2013年GUCCI新宿にて個展「水溜々人歩々（みずでぎてきてきとてくてく）」。

Sisyu started calligraphy when she was six. After having devoted herself to studying calligraphy in Nara Prefecture for three years, the center for calligraphy, she moved to Tokyo. She exhibited and performed at the collateral event of the 51st Venice Biennale in 2005. In 2010, she was awarded the 5th Teshima Yukei Prize for her title lettering for "Ryoma-den," a period drama broadcasted on NHK. Sisyu exhibited a video work made in collaboration with TEAMLAB at "Future Pass - From Asia to the World," which was a collateral event of the 54th Venice Biennale in 2011. Another collaboration video with TEAMLAB, "What a Loving, and Beautiful World" in 2012 received the Architecture, Art & Culture Award at the LAVAL VIRTUAL 2012 in France. In 2013, she held a solo exhibition, "Mizu teki-teki, Hito teku-teku," at GUCCI Shinjuku.

同時代を生きる表現者たちと一緒に新しいものをつくっていききたい

なく、まだ誰もやったことのない表現、新しい表現を求めています。またその表現や表現者に対し、懐が深く、敬意を表してくれます。

美術館やギャラリーなど発表する場所も、本当にたくさんある。「世界に比べれば、東京なんて小さくて……」という意見も耳にしますが、仕事で海外を歩き来している私から見ても、アートに対する柔軟さは、世界でも指折りの街だと思えます。

これからも東京ならではの出会いを大切に、



紫舟《南天鶏図》2012年

1



東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

1995年に開館した、日本で初めての写真と映像の専門美術館。国内外の作家の作品29,000点以上を収蔵する。今回、紫舟さんはコレクション展「写真のエッセー五つのエレメント」を鑑賞。

Japan's first art museum specializing in photography and video images opened in 1995. The museum holds a collection of more than 29,000 works by artists from both within and outside Japan.



東京都写真美術館の1階のホールでは、映像作品の上映を行っている。8月には『結婚って、幸せですか THE MOVIE』の上映を予定。※詳細は <http://fwife.tv/movie/>

There is a screening facility of video works at the hall on the first floor. *For further details, please visit the website of the facility.



紫舟《春が優しくて日々に喜び有り—白象—》2012年

2



東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

江戸東京の歴史遺産を守り、歴史と文化をふり返ることによって、東京の未来を考える博物館。「ファインバーグ・コレクション展—江戸絵画の奇跡—」(5月21日～7月15日)では実業家ファインバーグ氏が収集した、伊藤若沖をはじめとしたコレクションが公開される。

This museum aims to consider the future of Tokyo by protecting the historical heritage of Edo-Tokyo, as well as reflecting upon its history and culture.

3



紫舟《恋招白鳳図》2012年

西武渋谷店

SEIBU Shibuya

紫舟さんの個展が、西武渋谷店にて7月5日(金)～15日(月)に開催。一人で伊藤若沖の絵と書の平成のコラボを行った作品が発表される。

Sisyu's solo exhibition will be held at SEIBU Shibuya from Friday July 5 to Monday July 15. Her latest works, created using the works of Jakuchu Ito as a motif, will be presented.

東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum



洒井抱一〈十二ヶ月花鳥図〉
江戸時代 / 19世紀
絹本着色 12幅対の内、左7月、
右5月
ファインバーグコレクション
Hoitsu Sakai, *Birds and Flowers of
the Twelve Months*, Edo Period/19th
century, ink, colors and gold paint,
silk,
Set of twelve hanging scrolls,
Feinberg Collection

江戸東京博物館 開館20周年記念特別展 ファインバーグ・コレクション展 —江戸絵画の奇跡—

5月21日(火)～7月15日(月・祝)

20th anniversary special exhibition of the opening of Edo-Tokyo Museum,
The Flowering of Edo Period Painting: Japanese Masterworks From the Feinberg Collection
May 21 Tue – Jul 15 Mon, holiday

米国屈指の日本美術コレクターであるファインバーグ夫妻が収集した、江戸絵画を中心とする日本美術のコレクションを、日本で初めてまとまった形で紹介します。琳派、文人画、円山四条派、奇想派、浮世絵など、内容は実に多彩。優品約90件を通じて、百花繚乱の江戸絵画の世界をお楽しみください。

Edo Period Japanese art on loan from Robert and Betsy Feinberg are exhibited for the first time in Japan comprehensively. On show are about 90 outstanding works that encompass a variety of schools such as Rinpa, Bunjinga, Maruyama Shijo-ha, Kiso-ha, and ukiyoe. Please enjoy the rich world of Edo Period paintings.

入場料:一般 1,300円(1,040円)、大学生・専門学校生 1,040円(830円)、小学生・中学生・高校生・65歳以上 650円(520円)。()内は20名以上の団体料金。未就学児。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

会場:東京都江戸東京博物館 1階展示室
休館:月曜日(ただし7月15日は開館)
主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社、美術館連絡協議会

Admission: Adults: ¥1,300 / College and vocational students: ¥1,040 / Elementary school students, Junior high school students, high school students, and seniors (65 and over): ¥650.

Closed: Mon (Open on Jul 15)

江戸東京博物館 開館20周年記念特別展 花開く 江戸の園芸

7月30日(火)～9月1日(日)

20th anniversary special exhibition of the opening of Edo-Tokyo Museum,
Flowers in Bloom: The Culture of Gardening in Edo
Jul 30 Tue – Sep 1 Sun

幕末期の日本をつぶさに観察したイギリスの植物学者ロバート・フォーチュンが驚いたこと、それは日本人みな花好きであるということでした。江戸時代の日本で、広く浸透していた園芸文化に着目し、その素晴らしさを物語る資料を多数展示します。

Scottish botanist Robert Fortune witnessed Japan at the end of Edo Period, and what surprised him the most was the love Japanese people had for flowers. This exhibition will present a large number of documents and historical materials that underline the magnificence of gardening, with the focus on the culture of gardening, which spread through Japan in the Edo Period.

入場料:一般 800(640)円、大学生・専門学校生 640(510)円、小学生・中学生・高校生・65歳以上 400(320)円。20才(1992年7月1日～1994年4月1日生まれの方)20(20)円。()内は20名以上の団体料金。未就学児。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

会場:東京都江戸東京博物館 1階展示室

休館:月曜日(ただし8月12日は開館)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館

後援:公益財団法人東京都公園協会、社団法人園芸文化協会、一般社団法人英国王立園芸協会日本支部

Admission: Adults: ¥800 / College and vocational students: ¥640 / Elementary school students, Junior high school students, high school students, and seniors (65 and over): ¥400. / Those 20 years old (whose birthdays are from July 1, 1992, to April 1, 1994): ¥20

Closed: Mon (Open on Aug 12)



歌川国貞(三代豊国)《四季花くらべの内 秋》
1853(嘉永6)年 個人蔵
Kunisada Utagawa (the third Toyokuni) *Autumn, among
comparison of flowers in four seasons*, 1853 Private
collection



葛飾北斎《菊図》1847(弘化4)年 一般財団法人
北斎館蔵
Hokusai Katsushika Kiku-zu or *chrysanthemum*
1847 Courtesy: Hokusai-kan

CLOSE UP!

この展覧会に注目!

毎年全国では8,000件近くもの埋蔵文化財の発掘調査が行われています。「発掘された日本列島2013」展(6月8日～7月25日)では、近年の発掘調査の中でも特に注目される出土品を中心に展示します。

Every year, some 8,000 pieces of buried cultural properties are unexcavated nationwide. The exhibition, "Excavated Japanese Archipelago 2013" (June 8-July 25), will focus on the pieces that have drawn the most attract attention.

陶馬(とうば) 史跡備前陶器窯跡群出土 岡山県備前市 安土桃山時代 / 16世紀
Glazed stoneware horse, excavated in the historical site of former pottery kiln in, Bizen, Okayama Prefecture
Azuchi-Momoyama Period/16th c.





デ・ラランデ邸公開

4月20日(土)～

House of George de Lalande

Open to the public since April 20, 2013

西ゾーンに新規復元建造物、デ・ラランデ邸がオープンしました。赤いスレート葺きのマンサード屋根（腰折れ屋根）と下見張りの外壁が特徴の、新宿区信濃町にあった西洋式住宅です。明治時代の気象学者・物理学者である北尾次郎が自邸として設計したと伝えられる木造平屋建ての洋館を、1910年（明治43）頃ドイツ人建築家ゲオルグ・デ・ラランデが3階建てに増築しました。建物はデ・ラランデによる大規模な増築が行われた頃の姿に復元し、室内の一部は、当時の写真をもとに大正初期頃を想定して復元しています。

House of George de Lalande, a newly relocated building in the museum's west zone, has opened to the public. Characterized by its slate mansard roof and clapboard siding, it is a Western-style wooden house originally built in Shinanomachi, Shinjuku-ku. The ground floor is known to have been designed by Jiro Kitao, the meteorologist and physicist of the Meiji Era, as his private residence. The single-storey structure was enlarged to become three-storey wooden building around 1910 by the German architect George de Lalande. The relocated building has been restored to what it looked like after De Lalande's reconstruction, and the interior has been designed according to old photographs of early Taisho Era, around the time when De Lalande had lived in the house.

入場料:一般 400 (320) 円、大学生 320 (250) 円、中学生(都外)・高校生・65歳以上 200 (160) 円、小学生以下・中学生(都内) 無料。() 名は 20 名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者 2 名は無料。

会場: 江戸東京たてもの園

休園: 月曜日(祝日の場合は翌日)

主催: 東京都、江戸東京たてもの園

Admission: Adults: ¥400 / College students: ¥320 / Junior high school students living outside Tokyo, high school students, and seniors (65 and over): ¥200 / Elementary school students and younger, and junior high school students living in Tokyo: Free.

Closed: Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day)



デ・ラランデ邸外観
Exterior of House of George de Lalande



1階居間
Interior of Living room



2階主寝室
Interior of Bed room

CLOSE UP!

このスポットに注目!

邸内にはカフェ「武蔵野茶房」もあり、コーヒーやケーキをお楽しみいただけます。緑豊かなテラス席では桜、紅葉などの風景が目の前にひろがるなか、ゆっくりとお過ごしいただけます。

Inside, visitors can enjoy a coffee break at the Musashino Sabo café. Landscapes featuring cherry blossoms in spring and rusty hued leaves in autumn can be appreciated from seats on its lush green terrace.



1階食堂、カフェの様子
A scene of the café

東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography



東京都写真美術館



米田知子 「サハリン島」より 《北緯50度、旧国境》 2012年
Tomoko Yoneda North latitude 50 degree, former national border, from Sakhalin Island 2012

やみ 米田知子 暗なきところで逢えれば

7月20日(土)～9月23日(月・祝)

Yoneda Tomoko: We shall meet in the place where there is no darkness
Jul 20 Sat – Sep 23 Mon, holiday

日本を代表する写真家の一人、米田知子の個展を開催します。米田の作品は、記録という写真の根本的な役割をベースにしなが、現実に見える対象だけではなく、物や場所が持つ記憶や歴史を、その背景に投影しています。本展では「Scene」シリーズなどの近作を中心に展示し、現在進行形で取り組む彼女の表現の魅力に迫ります。

One of the most important Japanese photographers today, Tomoko Yoneda puts memories and history that belong to objects and places into her works, using the essential function of photography—documentation. This exhibition focuses on her series, titled “Scene”, and other recent works, and it will draw out the charm of the expressions that Yoneda has been developing.

入場料:一般 700(560)円、学生600(480)円、
中高生・65歳以上 500(400)円。()内は20名
以上の団体料金及び東京都写真美術館友の
会会員。小学生以下及び障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料。

会場:東京都写真美術館 2階展示室
休館:月曜日(祝日の場合は翌日)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

Admission: Adults: ¥700 / College students: ¥600 / Junior high and high school students, and seniors (65 and over): ¥500

Closed: Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day)

平成25年度東京都写真美術館コレクション展 写真のエステ—写真作品のつくりかた

7月13日(土)～9月16日(月・祝)

写真のエステ—コスモス 写された自然の形象(仮称)

9月21日(土)～11月17日(日)

The Aesthetics of Photography - The Making of Photographic Works

Jul 13 Sat – Sep 16 Mon, holyday

The Aesthetics of Photography - Cosmos Natural Phenomena in Photographs (tentative)

Sep 21 Sat – Nov 17 Sun

2013年は「写真の美しさはどこにある?」をテーマに、コレクションの中から選りすぐられた名作を紹介しています。2期目の「写真作品のつくりかた」展では、「アングル」「焦点」「光のあつかい」「暗室作業」の4つの構成要素を手掛かりに、写真の美しさが何によって作られているかを考えます。3期目の「コスモス 写された自然の形象」展(仮称)では中国の古い思想「木・火・土・金・水」に基づいた作品を紹介します。

For 2013, the museum is presenting carefully selected masterpieces from its collection on the theme of “Where is the beauty in photography?” “The Making of Photographic Works,” the exhibition’s second part, examines the question of what creates the beauty in photography, from the aspect of production technique with the help of four elements: “Angle,” “Focus,” “Handling of lighting” and “Darkroom work,” as triggers. The third part, “Cosmos Natural Phenomena in Photographs”(tentative) will present works based on ancient Chinese philosophy “wood, fire, earth, gold and water.”

写真のエステ—写真作品のつくりかた 写真のエステ—コスモス 写された自然の形象(仮称)

入場料:一般 500(400)円、学生 400(320)円、中高生・65歳以上 250(200)円。()内は20名以上の団体料金。小学生以下及び障害者手帳をお持ちの方とその介護者、東京都写真美術館友の会会員は無料。

会場:東京都写真美術館 3階展示室

休館:月曜日(祝日の場合は翌日) 主催:東京都写真美術館

Collection Exhibition 2013: The Aesthetics of Photography - The Making of Photographic Works

Collection Exhibition 2013: The Aesthetics of Photography - Cosmos Natural Phenomena in Photographs

Admission: Adults: ¥500 / College students: ¥400 / Junior high and high school students, and seniors (65 and over): ¥250

Closed: Mon (When Mon is a national holiday or a substitute holiday, closed on the following day)

CLOSE UP!

この展覧会に注目!

日常の裂け目から顕れる非日常の瞬間に着目した作品で評価の高い、「須田一政」の個展(9月28日～12月1日)を開催します。「風姿花伝」などの代表的なシリーズに初期作品、最新作を加え、日本の風俗を精緻なプリント表現から探ります。

A solo exhibition by Issei Suda will be held from September 28-December 1. Suda is highly acclaimed for his works that focus on moments that appear through the crevices of everyday life. Day-to-day life in Japan will be examined through his printing expressions with his representative series works of “fushi kaden” in addition to his latest works.



「写真のエステ—写真作品のつくりかた」より
マン・レイ《眠るモデル》1929年
From The Aesthetics of Photography - The Making of Photographic Works
Man Ray, *Modele dormant*, 1929



「写真のエステ—コスモス 写された自然の形象」(仮称)より
水越武 福島県 奥只見 ブナ林 1990年
From The Aesthetics of Photography - Cosmos Natural Phenomena in Photographs (tentative)
Takeshi Mizukoshi, *Beech forest, Okutadami, Fukushima Prefecture*, 1990



須田一政「風姿花伝」より
秋田・西馬音内 1976年
Issei Suda, *Nishimonai, Akita*, 1976
from Fushi Kaden series.



はまぐちさくらこ
《オバケとパンツとお星さま》
2013年
Sakurako Hamaguchi, *Ghosts, Underpants and Stars*, 2013

オバケとパンツとお星さま —こどもが、こどもで、いられる場所

6月29日(土)～9月8日(日)

Ghosts, Underpants and Stars-A place where children can be children
Jun 29 Sat – Sep 8 Sun

「オバケ」と「パンツ」と「お星さま」をキーワードとした5人(組)のアーティストの作品を展覧します。こどもたちが美術館での鑑賞方法を楽しく学ぶとともに、「さわる」「はしゃぐ」など、彼らの自然なふるまいを抑制することなく美術に親しむ契機となるよう企画されました。

参加アーティスト：ゼロゼロエスエス(変身コーナー担当)、松本力(オバケ担当)、はまぐちさくらこ(パンツ担当)、デタラメ星座協会(代表：村井啓哲 / system: 筒井真佐人 お星さま担当)、トラフ建築設計事務所(鈴野浩一、禿真哉 オバケ屋敷担当)

This is a summer-holiday exhibition aimed mainly at infants and primary school children. The normal, staid rules of the museum, such as 'Don't Touch' or 'Keep Quiet', will be relaxed and the museum will provide a place where children are free to touch and have fun. Based around three keywords that symbolize children: 'Ghosts' (imagination), 'Underpants' (children's growth) and 'Stars' (wishes), the exhibition will consist not only of works that are just to be appreciated for what they are, but will also include participation works or programs.

Artists: ZEROZEROESUESU, Chikara Matsumoto, Sakurako Hamaguchi, De-Ta-Ra-Me Constellation Society (Representative: Koizetsu Murai / system: Masato Tsutsui), TORAFU ARCHITECTS (Koichi Suzuno, Shinya Kamuro)

入場料:一般1,000(800)円、大学生・65歳以上800(640)円、中学生500(400)円。小学生以下無料*保護者の方の同伴が必要です。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

会場:東京都現代美術館 企画展示室1F
休館:月曜日(祝日の場合は翌日)
主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館

Admission: Adults: ¥1,000 / College students and seniors (65 and over): ¥600 / Junior high and high school students: ¥500.

Closed: Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day)

手塚治虫×石森章太郎 マンガのちから

6月29日(土)～9月8日(日)

The Power of Manga: Osamu Tezuka and Shotaro Ishinomori
Jun 29 Sat – Sep 8 Sun

マンガが世界的な文化として確立した背景には、「マンガの神様」手塚治虫と、「マンガの王様」石森章太郎の二人の存在が大きくあります。親しみやすいイメージとユニークなキャラクター、普遍的なテーマを含んだ物語などに特徴づけられる彼らの作品は、今もなお人々を魅了し続けています。本展では、「鉄腕アトム」や「サイボーグ009」といった代表作の原画や様々な映像などから「マンガのちから」の源流を探ります。

Manga has developed to the point where it has become a part of world culture thanks to the work of Osamu Tezuka, referred to as the "God of Manga", and Shotaro Ishinomori, the "King of Manga". Their works are characterized by endearing images combined with stories of universal themes that continue to fascinate people to this day. This exhibition will look at the messages contained in their works and explore the source of the power of manga by presenting their original pictures and images, including Astro Boy and Cyborg 009.

入場料:一般1,200(960)円、大学生・65歳以上900(720)円、中学生700(560)円小学生以下無料。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。同時開催の展覧会とのセット券もあり。

「オバケとパンツとお星さま」との2展セット券

一般1,500円、大学生・65歳以上1,200円、中学生900円

「オバケとパンツとお星さま」「フランス・アリス展 ジブラルタル海峡編」との3展セット券

一般2,000円、大学生・65歳以上1,500円、中学生1,000円

会場:東京都現代美術館 企画展示室地下2F

休館:月曜日(祝日の場合は翌日)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、NHK、NHKプロモーション

特別協力:手塚プロダクション、石森プロ

Admission: Adults: ¥1,200 / College students and seniors (65 and over): ¥900 / Junior high and high school students: ¥700.

Closed: Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day)

A set of tickets for the two or three exhibitions running concurrently at the museum is available.



鉄腕アトム
© 手塚プロダクション
ASTRO BOY
© TEZUKA PRODUCTIONS

サイボーグ 009
© 石森プロ
CYBORG 009
© ISHIMORI
PRODUCTION INC.

CLOSE UP!

この展覧会に注目!

フランス・アリスの活動を概観した「MEXICO SURVEY メキシコ編」に続く「GIBRALTAR FOCUS ジブラルタル海峡編」(6月29日～9月8日)では、ジブラルタル海峡で行った大規模な新作プロジェクトに焦点をあて、映像、絵画、ドローイング、インスタレーション、写真などで多角的に紹介します。

Following the first stage of Alijs' solo exhibition, which gave an overview of his activities, the second stage introduces his new, large-scale project implemented across the Gibraltar Strait, which separates Africa and Europe. Alluding to the issue of immigrants, Alijs engages imaginatively with children to connect the two continents. The project will be presented through videos, installations, paintings and drawings.



《川に着く前に橋を渡るな》2008年
ジブラルタル海峡
アクションの記録映像と写真
Don't Cross the Bridge Before You Get to the River, 2008, Strait of Gibraltar
Video and photographic documentation of an action Photo: Jorge Golem



《アカンサス》2013年 アクリル絵具/パネル 作者蔵
Acanthus, 2013, acrylic on panel, courtesy of the artist

福田美蘭展

7月23日(火)～9月29日(日)

Fukuda Miran

Jul 23 Tue – Sep 29 Sun

リニューアル後の企画展として当館や上野にゆかりのある現代作家の個展を開催します。第1回は若くして独自のスタイルを切り拓き、旺盛な創作活動を行っている福田美蘭(1963-)を取り上げます。母校・東京藝術大学にちなんだ作品、東京都美術館の設計者である前川國男への敬意をこめた作品など、この展覧会のために制作した新作と1990年代以降の代表的作品約70点で特徴ある当館のギャラリーを構成します。

The reopened museum will hold a series of solo exhibitions featuring contemporary artists who are associated with the museum as well as with the Ueno area. The first in the series will focus on Miran Fukuda (born 1963) who established her style early in her career and continues to present ingenious works. This exhibition will compose the museum's gallery space with about 70 representative works created since the 1990s, also including pieces newly created that are associated with Tokyo University of the Arts, where she graduated, and pay homage to Kunio Mayekawa, the architect who designed the museum.

入場料:一般800(600)円、学生400円、65歳以上500円。()内は20名以上の団体料金。高校生以下無料。身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添の方1名は無料。第3土曜日・翌日曜日は、18歳未満のお子さまを同伴する保護者(都内在住)は一般当日料金の半額。いずれも証明できるものが必要。

会場:東京都美術館 ギャラリーA、B、C

休室:月曜日(祝日の場合は翌日)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館

Admission: Adults: ¥800 / College students: ¥400 / Seniors (65 and over): ¥500.

Closed: Mon (Open on Sep 16, Sep 23), Sep 17 Tue, Sep 24 Tue

ルーヴル美術館展

—地中海 四千年のものがたり—

7月20日(土)～9月23日(月・祝)

The Mediterranean World: The Collections from the Louvre

Jul 20 Sat – Sep 23 Mon, holiday

西洋と東洋の文化がダイナミックに交差する地中海。ルーヴルが誇る200点を超える作品で、その4000年におよぶ多様で豊かな人々の営みを紹介します。ルーヴル美術館の全8美術部門が総力を挙げて企画した本展は、彫刻、工芸、絵画など多彩な作品で地中海の魅力に迫ります。

The Mediterranean is a point where Western and Eastern cultures dynamically intersected. The region's 4000 year history will be traced by more than 200 masterpieces in the Louvre's proud possession. This exhibition, produced by all of the Louvre's eight art departments, will feature a wide variety of sculptures, paintings and crafts to present the charms of the Mediterranean.

入場料:一般1,500(1,300)円、学生1,300(1,100)円、高校生800(600)円、65歳以上1,000(800)円。中学生以下無料。身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添の方1名は無料。第3土曜日・翌日曜日は、18歳未満のお子さまを同伴する保護者(都内在住)は一般当日料金の半額。いずれも証明できるものが必要。

会場:東京都美術館 企画棟 企画展示室

休室:月曜日(祝日の場合は翌日)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、ルーヴル美術館、日本経済新聞社、NHK、NHKプロモーション

Admission: Adults: ¥1,500 / College Students: ¥1,300 / High School student: ¥800 / Seniors (65 and over): ¥1,000.

Closed: Mon(Open on Sep 16, Sep 23), Sep 17 Tue



《アルテミス、通称「ギャビーのディアナ」》
100年頃
Artemis, as known as *Diana of Gabii* c. 14-37
© RMN-Grand Palais (musée du Louvre) /
Hervé Lewandowski / distributed by AMF



テオドール・シャセリオー《アルジェリア、バルコニーのユダヤの女性たち》1849年
Théodore Chassériau *Algeria, Jewish Women on a Balcony*, 1849
© RMN-Grand Palais (musée du Louvre) / Daniel Arnaudet / distributed by AMF

CLOSE UP!

このプロジェクトに注目!

この夏から始まる新たなプロジェクト「Museum Start あいうえの」。東京都美術館と東京藝術大学が中心となり、上野公園に集まるミュージアムや図書館、大学、文化施設等が連携して行います。アートを介したコミュニケーションを活かして、キッズやジュニア、その家族や学校の先生に、美術館を楽しんでもらうための応援プログラムです。

The museum will launch a new project called "Museum Start i-ueno" this summer. The Metropolitan Art Museum and Tokyo University of the Arts will collaborate with other museums, libraries, universities and cultural facilities located in Ueno Park to hold various programs. Through arts and communications, these programs support and encourage kids, the youth, their families and school teachers to enhance their enjoyment of museums.



東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan



Music Weeks in TOKYO 2013

小曽根 真 & パキート・デリベラ

“Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

10月26日(土) 東京文化会館、27日(日) パルテノン多摩

Music Weeks in TOKYO 2013

Makoto Ozone & Paquito D'Rivera “Jazz meets Classic” with Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

Oct 26 Sat, 27 Sun

クラシックとジャズで縦横無尽に活躍するピアニスト小曽根 真と、世界的ジャズ・クラリネット奏者のパキート・デリベラによる“Jazz meets Classic”。第一部は東京都交響楽団との共演でコンチェルトを、そして第二部は2人によるジャズ・セッションをお楽しみください。

Makoto Ozone is the pianist who enjoys playing freely in either classic or jazz. The world renowned clarinet performer Paquito D'Rivera will join Ozone to present “Jazz meets Classic.” The first part will collaborate with Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra to perform concerto, then the second part will be jazz session by the two giants.

出演：小曽根真(ピアノ)、パキート・デリベラ(クラリネット、サクソフォン)

指揮：ジョシュア・タン*

管弦楽：東京都交響楽団*

*第一部のみ出演

第一部：モーツァルト/クラリネット協奏曲(オリジナル版にピアノも加わる特別版で演奏します)、ラフマニノフ/パガニーニの主題による狂詩曲

第二部：ジャズ・セッション(小曽根真×パキート・デリベラ)

料金：S席 5,000円、A席 4,000円、B席 3,000円、学生席 1,000円(26日)、S席 5,000円、A席 3,000円、学生席 1,000円(27日)

会場：東京文化会館 大ホール(26日)、パルテノン多摩 大ホール(27日)

開演：15:00(14:20開場(26日)、14:30開場(27日))

主催：東京都 東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団) 提携：公益財団法人多摩市文化振興財団(27日) 協力：一般社団法人日本クラリネット協会 ※当事業は東京文化発信プロジェクト事業です

Performers: Makoto Ozone(Piano), Paquito D'Rivera(Clarinet, Saxophone), Joshua Kangming Tan(Conductor) *, Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra * * 1st part only

Program: [1st part] Mozart: Clarinet Concerto (Special Version: with Ozone's Piano), Rachmaninov: Rhapsody on a Theme of Paganini, [2nd part] Jazz Session - Makoto Ozone & Paquito D'Rivera

Admission: S seats: ¥5,000, A seats: ¥4,000, B seats: ¥3,000, Student: ¥1,000(Oct 26) / S seats: ¥5,000, A seats: ¥3,000, Student: ¥1,000 (Oct 27)

CLOSE UP!

この人に注目!

土取利行は、ピーター・ブルック国際劇団で音楽監督として長年活躍してきました。今回コラボレーションするサルドノ W. クスモはインドネシアを代表するダンサーで、本格的な共演は今回が初となります。伝統を根とし現代を問いつける二人が遭遇し創出する初の舞台をお見逃しなく。

Toshi Tsuchitori has long been active as a music director at Peter Brook's international theater. He has known Sardono W. Kusumo for long time but their collaborative performance is first time to be held. Please do not miss this first performance of the two who examine contemporary work developed from the traditional root.



土取利行
Toshi Tsuchitori



小曽根 真
Makoto Ozone
© 篠山紀信



パキート・デリベラ
Paquito D'Rivera
© R. Andrew Lepley

舞台芸術創造事業 ~Percussion×Dance×Art~

ニルヴァーナ —泥洹—

土取利行 meets サルドノ W.クスモ

9月7日(土)

“Nirvana” - Toshi Tsuchitori meets Sardono W. Kusumo

Sep 7 Sat

世界的パーカッショニスト土取利行とインドネシアの革新的舞踊家クスモ、伝統とコンテンポラリーを身に纏う二人のアジアン・アーティストが遭遇し、初コラボレーションがここに実現します。

Toshi Tsuchitori, the world's renowned percussionist will meet Kusumo, the Indonesian innovative dancer. The two Asian artists who clad tradition and contemporary tastes will make their first collaboration program.

開演：18:00(17:30開場) 出演：土取利行(音楽家、パーカッショニスト)、サルドノ W.クスモ(振付、舞踊家)

料金：S席 5,800円、A席 3,800円、B席 2,000円

会場：東京文化会館小ホール

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館

Performers: Toshi Tsuchitori (Musician, Percussionist), Sardono W.Kusumo (Choreographer, Dancer) Admission: S seats: ¥5,800, A seats: ¥3,800, B seats: ¥2,000



土取利行
Toshi Tsuchitori



サルドノ W.クスモ
Sardono W. Kusumo

Music Weeks in TOKYO 2013

プラチナ・シリーズ

第1回 ウィッシュフル・シンギング

奇跡の女声アカペラ・アンサンブル 10月18日(金)

第2回 ブルーノ=レオナルド・ゲルバー

ベートーヴェンへのオマージュ 10月19日(土)

Music Weeks in TOKYO 2013 Platinum Series Oct 18 Fri, 19 Sat

小ホールでのコンサート・シリーズが装いも新たに始まります。国内外の第一線で活躍する様々なジャンルのアーティストによるコンサートをお楽しみください。

Newly organized series of concert will be started in the recital hall. Please expect and enjoy a wide variety of concerts to be held by artists in various specialties who are active in both Japan and abroad.

10月18日(金)

開演：19:00(18:30開場) 出演：ウィッシュフル・シンギング(アカペラ・アンサンブル)

曲目：スカラッティ/私の心よ、弱ってはならぬ、日本古謡(松下耕 編曲) / さくら、リチャード・レイ/ 瞳のささやき ほか

10月19日(土)

開演：14:00(13:30開場) 出演：ブルーノ=レオナルド・ゲルバー(ピアノ)

曲目：ベートーヴェン/ピアノ・ソナタ第15番「田園」、第3番、第14番「月光」、第23番「熱情」

料金：S席 4,800円、A席 3,800円、B席 2,000円

会場：東京文化会館小ホール

主催：東京都 東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団) ※当事業は東京文化発信プロジェクト事業です



ウィッシュフル
シンギング
Wishful Singing
© Patrick Post



ブルーノ=レオナルド
ゲルバー
Bruno Leonardo Gelber

Oct 18 Fri

Performers: Wishful Singing (A Cappella Ensemble)

Program: Scarlatti: Cor mio, deh non languire, Japanese Folk Song: SAKURA, R.Leigh: Don't It Make My Brown Eyes Blue, etc.

Oct 19 Sat

Performers: Bruno Leonardo Gelber (Piano)

Program: All Beethoven Program: Piano sonata No.15 "Pastoral", No.3, No.14 "Moonlight", No.23 "Appassionata"

Admission: S seats: ¥4,800, A seats: ¥3,800, B seats: ¥2,000

コンサートオペラ vol.1 バルトーク 歌劇「青ひげの城」

9月13日(金)

Concert Opera vol.1, "Bluebeard's Castle"
Sep 13 Fri

古今東西の20世紀オペラ作品にあって異色の傑作、本場ハンガリーのソリスト、俳優・仲代達矢を迎え、井上道義が満を持して取り組みます!

Bluebeard's Castle is a unique masterpiece among the 20th century opera pieces worldwide. Kovács István, Hungarian soloist (Bass), Tatsuya Nakadai, veteran actor, and Michiyoshi Inoue, conductor will tackle on this program.

開演: 19:00 (18:00 ロビー開場)

指揮: 井上道義 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

出演: 青ひげ公/コヴァーチ・イシュトヴァーン、ユーディト/メラス・アンドレア、吟遊詩人/仲代達矢

曲目: オフエンバック(ロザンタル編曲)/バレエ音楽「パリの喜び」、バルトーク/歌劇「青ひげの城」(演奏会形式)

料場: S席 6,500円、A席 5,500円、B席 4,000円、C席 3,000円、D席 2,000円(全席指定)

会場: 東京芸術劇場コンサートホール

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください

※やむを得ぬ理由により曲目等変更の可能性がございますのでご了承ください

Start: 19:00

Conductor: Michiyoshi Inoue

Performer: Kovács István (bass) Meláth Andrea (Mez) / Tatsuya Nakadai (wandering minstrel) / Tokyo Philharmonic Orchestra

Admission: S seats: ¥6,500 / A seats: ¥5,500 / B seats: ¥4,000 / C seats: ¥3,000 / D seats: ¥2,000 (all reserved-seats)



井上道義
Michiyoshi Inoue
© Orchestra Ensemble
Kanazawa



メラス・アンドレア
Meláth Andrea



コヴァーチ・イシュト
ヴァーン
Kovács István



仲代達矢
Tatsuya Nakadai

Roots Vol.1 ストリッパー物語

7月10日(水)~28日(日)

Roots Vol.1 A Stripper's Tale
Jul 10 Wed - 28 Sun

60、70年代の優れた戯曲を、若手演出家の解釈と演出により復刻する新シリーズ Roots 企画。第1弾は、つかこうへいの代表作『ストリッパー物語』を人気演劇ユニット「ポツドール」の三浦大輔による構成・演出でお届けします。

A new series of Roots program that younger generation directors today will reproduce outstanding theater dramas in 1960s and '70s in their own interpretation. The first piece is "A Stripper's Tale" by Kohei Tsuka.

作: つかこうへい 構成・演出: 三浦大輔

出演: リリー・フランキー、渡辺真起子/渋谷清彦、安藤聖、古澤裕介、新田めぐみ、米村亮太郎、門脇麦/でんでん

料金: 一般 5,500円、高校生 1,000円、25歳以下 3,500円、65歳以上 4,000円(全席指定)

※高校生割引、25歳以下、65歳以上は枚数限定・前売のみ。(要証明書)

※障害をお持ちの方10%割引にてご観劇いただけます。前売のみ、一般発売より取扱い。お付添いの方は1名様まで無料となります(チケットお引取りの際に、障害者手帳をご提示ください。)※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。

会場: 東京芸術劇場シアターイースト

主催: 東京都、東京芸術劇場・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

※当事業は東京文化発信プロジェクト事業です

Text: Kohei Tsuka Direction: Daisuke Miura Performer: Lily Franky, Makiko Watanabe, Denden, etc.

Admission: Adult: ¥5,500, High school students: ¥1,000, Under 25: ¥3,500, 65 and over: ¥4,000

オックスフォード大学演劇協会(OUDS) 来日公演 間違いの喜劇

8月24日(土)~25日(日)

Oxford University Dramatic Society Japan Tour 2013

The Comedy of Errors

Aug 24 Sat - 25 Sun

イギリスの名門 オックスフォード大学の学生たちによるシェイクスピア劇の上演。古典の名作に、現代の若者ならではの感性を加えたフレッシュな舞台をお届けします。

(英語上演・日本語字幕付き)

Shakespeare's theater play performed by British prestigious Oxford University's students. Today's young students added their fresh ideas on the classic masterpieces. (English performance with Japanese subtitles)

作: ウィリアム・シェイクスピア 演出・出演: オックスフォード大学演劇協会(OUDS)

料金: 一般 2,500円、学生 2,000円、高校生 1,000円(全席指定)

会場: 東京芸術劇場シアターイースト

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場、豊島区

Text: William Shakespeare Direction / Performer: Oxford University Dramatic Society

Admission: Adult: ¥2,500, University Student: ¥2,000, High school student: ¥1,000 (all reserved-seats)



宣伝美術: 永瀬祐一
撮影: 西村淳

CLOSE UP!

この公演に注目!

富山市「オーバード・ホール名作ミュージカル上演シリーズ」から、剣幸とモト冬樹主演「ハロー・ドーリー!」の上演が決定。8月23日(金)~25日(日)に上演します。ご期待ください。

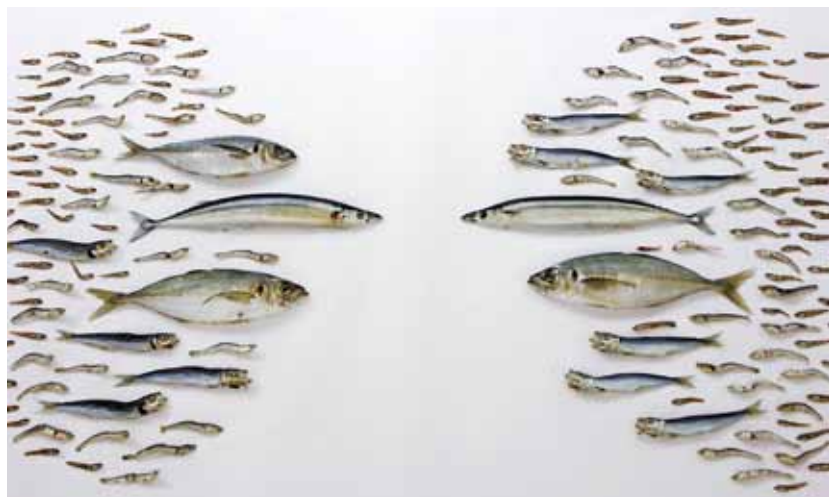
"Hello Dolly!" featuring Miyuki Tsurugi as a leading performer will be performed from Friday, August 23 to Sunday, 25. This program was selected from a series of Toyama City's "Aubade Hall classical masterpiece musicals." Please expect it!



トーキョーワンダーサイト



Tokyo Wonder Site



ヌール・アブララフェ 《生よりも死に近い状態》2012年
Noor Abu Arafah, *A state closer to Death than it is to Life*, 2012

トーキョー・ストーリー 2013 第三章

7月13日(土)～9月23日(月・祝)

TOKYO STORY 2013 PART3

Jul 13 Sat – Sep 23 Mon, holiday

昨年度トーキョーワンダーサイト (TWS) のクリエイター・イン・レジデンス・プログラム (CiR) に参加し、東京や海外の派遣先で滞在制作に励んだクリエイターたちによる成果発表展の第三弾。第二章に引き続き、5月に再オープンした TWS 渋谷にて、国内外のクリエイター 5 人が作品を発表します。年間約 100 名のクリエイターたちが参加するレジデンス・プログラムを通して、クリエイターたちと継続的な対話を行ってきた TWS だからこそ実現可能な新しい場を目指し、東京からクリエイティブな物語を送ります。

参加アーティスト (予定) : 池田剛介、奥村雄樹、ヌール・アブララフェ (パレスチナ)、モハメド・アブデルカリム (エジプト)、スッティラット・スバパリンヤ (タイ)
※前号掲載時から会期が変更になりました。ご了承ください。

This exhibition is the third in a series that introduces the productions of creators who participated in the Tokyo Wonder Site Creator-in-Residence (CiR) Program 2012. The five creators who participated in the program will present their works at TWS Shibuya, which reopened in May 2013. TWS has continuously been conducting dialogue through its residency programs with participants of some 100 creators annually so that it can convey creative stories from Tokyo to new venues.

Artists (TBC): Mohamed Abdelkarim (Egypt), Noor Abu Arafah (Palestine), Kosuke Ikeda, Yuki Okumura, Sutthirat Supaparinya (Thailand)

入場料: 無料
会場: トーキョーワンダーサイト渋谷
休館: 月曜日 (祝日の場合は翌日)
主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団
トーキョーワンダーサイト

Admission: Free
Venue: Tokyo Wonder Site Shibuya
Closed: Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day)

TWS-Emerging 2013

5月11日(土)～9月23日(月・祝)

TWS-Emerging 2013

May 11 Sat – Sep 23 Mon, holiday

TWS-Emerging は、若手アーティストの登竜門としてはじまった公募展「トーキョーワンダーウォール (TWW)」と連携したプログラムです。毎年 TWW では約 1000 名の応募者の中から 100 名の入選者が選ばれ東京都現代美術館で展示を行います。TWS-Emerging は、この 100 名の入選者の中から希望者を募り、審査を経て選出された作家を TWS 本郷にて展示するものです。本年度は 20 名が選ばれ、4 名ずつ個展形式で順に紹介しています。

7月6日(土)～28日(日): 平川正、小林あずさ、西村有、三瓶玲奈
8月3日(土)～25日(日): 改田憲康、江川純太、松井沙都子、市川紗也子
8月31日(土)～9月23日(月・祝): 菅亮平、河合真里、西村有未

TWS-Emerging, is associated with the open call exhibition, Tokyo Wonder Wall, which has been providing talented young artists with a gateway to success. Each year 100 people are selected from about a thousand applicants, and their works are displayed at the Museum of Contemporary Art Tokyo. TWS-Emerging invites the same 100 artists to participate in another exhibition, and those chosen are put on display at Tokyo Wonder Site Hongo. For this year, 20 young artists were selected to show their works.

Jul 6 – 28: Tadashi Hirakawa, Azusa Kobayashi, Yu Nishimura, Reina Mikame
Aug 3 – 25: Noriyasu Kaida, Junta Egawa, Satoko Matsui, Sayako Ichikawa
Aug 31 – Sep 23: Ryohei Kan, Mari Kawai, Yumi Nishimura

入場料: 無料
会場: トーキョーワンダーサイト本郷
休館: 月曜日 (祝日の場合は翌日)
主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト

Admission: Free
Venue: Tokyo Wonder Site Hongo
Closed: Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day)

CLOSE UP!

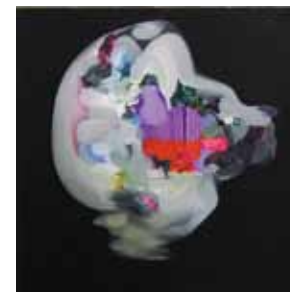
この活動に注目!

トーキョーワンダーサイト青山: クリエーター・イン・レジデンスでは、国内外から集まったクリエイターたちが様々な人と出会い刺激を受けながら創作活動を行っています。その制作現場を一般公開する OPEN STUDIO 2013 (7月20日、9月21日)。スタジオ・ツアーやゲスト・トークなども開催予定です。

Under the TWS Aoyama: Creator-in-Residence program, creators from Japan and abroad get together to exchange ideas and inspire each other. OPEN STUDIO 2013 (to be held July 20 and September 21) is a program that attempts to show their work to the public while in progress. Studio tours and guest talks are also scheduled.



TWS-Emerging 200 平川正 《完璧な一日》2012年
TWS-Emerging 200 Tadashi Hirakawa, *A Perfect Day*, 2012



TWS-Emerging 205 江川純太 《その瞬間、お前は何を捨てて何を捨てるのだろうか?》2012年
Junta Egawa, *What do you throw away and What is gathered at the moment?*, 2012



OPEN STUDIOの様子 (マリナー・カポス) 2013
OPEN STUDIO (Marina Kappos) 2013

東京文化発信プロジェクト

Tokyo Culture Creation Project



東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。都内各地に創造活動拠点を形成し、より多くの人々が新たな文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、拠点の担い手となる人材の育成も支援します。また、国内外から発信力のある人物を招聘し、交流・意見交換を行うほか、海外ゲストを交え国際会議を実施します。

Tokyo Culture Creation Project, organized by the Tokyo Metropolitan Government and the Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture in cooperation with arts organizations and NPOs, aims to establish Tokyo as a city of global cultural creativity. The project facilitates involvement of a larger number of people in creation of new culture, by building regional bases for culture creation across the city and offering opportunities for creative experiences to children and young people. Moreover, it creates and globally disseminates new Tokyo culture through organizing international festivals and other diverse events.

東京発・伝統 WA 感動 キッズ伝統芸能体験

Traditional Performing Arts for Kids

伝統芸能の一流の芸術家が伝統芸能のお稽古にふさわしい場所で、子供たちに直接指導。定期的にお稽古を重ねることで、伝統芸能の世界が培ってきた礼儀作法、厳しさなどの文化環境を自然に身につけられるような学びの場をつくります。また、その成果を舞台上で発表する機会も提供されます。

Leading artists in various fields of Japanese traditional performing arts personally instruct children for a period of seven months, in the environment suited for practicing the arts. Through the extended and authentic experience, this program provides the children with the opportunity to grow sensibility to and appreciate the traditional culture that the Japanese have cherished to date. At the end of the program, public performance is set for the children to present their achievements to the families and friends as well as to themselves.

参加者募集期間：6月1日(土)～7月16日(火)

お試し体験・見学会：7月6日(土)、7日(日) /会場：芸能花伝舎

開講式：8月25日(日) /会場：国立能楽堂

能楽発表会：平成26(2014)年3月21日(金・祝) [予定] /会場：宝生能楽堂

長唄・三曲・日本舞踊発表会：平成26(2014)年3月27日(木)、28日(金) [予定] /会場：浅草公会堂

主催：東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、東京発・伝統WA感動実行委員会

キッズ伝統芸能体験 お稽古(長唄)
Traditional Performing Arts for Kids-Nagauta

東京発・伝統 WA 感動 伝統芸能公演

Tokyo Traditional Arts Program

伝統文化の魅力を国内外へ発信するための事業です。伝統芸能公演では、能楽、邦楽、日本舞踊、落語などの伝統芸能を広くとりあげ、一流の実演家による公演やワークショップを実施します。

A program to transmit the appeal of Japan's traditional culture to Japan and abroad. This traditional performing arts program covers such fields as Noh, Hohgaku (Japanese traditional music), Nihon Buyo, and Rakugo (story-telling), with workshops and presentations by leading performers.

公募ワークショップ公演1 8月1日(木)～9月30日(月)の1日間

会場：未定

大江戸寄席と花街のおどり その三—お座敷遊び(仮)— 9月16日(月・祝)

踊り：新橋、赤坂、浅草三花街の芸者衆 /落語：春風亭一之輔、林家正蔵、柳亭市馬

会場：有楽町朝日ホール

主催：東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、東京発・伝統WA感動実行委員会

※東京発・伝統WA感動実行委員会構成団体 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、独立行政法人日本芸術文化振興会、NHK エンタープライズ



伝統芸能公演「大江戸寄席と花街のおどり その二」より、新橋・赤坂芸者衆による踊り

"Dance Performance of Geisha from Shimbashi and Akasaka district" in Traditional Performing Arts

パフォーマンスキッズ・トーキョー

Performance Kids Tokyo

プロのアーティストを都内の学校や文化施設などに派遣し、ワークショップを通じて子供たちが主役のオリジナル舞台作品を創作。学芸会や文化祭、ホール等で発表公演を開催します。

This program dispatches professional artists to schools and cultural facilities to hold workshops. Children will take the lead to create stage performances and will make presentation performances in schools, cultural festivals and halls.

公演1：8月23日(金)、24日(土) 田村一行(舞踏家・振付家) /調布市せんがわ劇場

公演2：9月1日(日) 北村成美(振付家・ダンサー) /光が丘・IMA ホール

公演3：9月29日(日) 青木尚哉(振付家・ダンサー) /三鷹市公会堂

観覧料：無料(事前予約制)

主催：東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち

※詳細はウェブサイト <http://www.children-art.net/pkt/> をご覧ください

平成24年度エコルマホール /ワークショップ

Ecorma Hall in 2012/Workshop

© Mihoko Sendo



平成24年度ルネこだいら /発表公演

Kodaira Citizens Cultural Hall in 2012/

Public performance

© Syoko Kashima

三宅島大学

Miyakejima University

東京都の島しょ部である三宅島全体を「大学」に見立て、様々な学びの場を提供する仕組みを作るプロジェクトです。島の資源を活かした講座や、調査・研究、環境整備などの複合的な活動を通して、三宅島の多様な魅力を再発見、再構築しながら発信します。

Likening the whole Miyake Island, one of Tokyo's islands, to a "university," the project aims to create a structure that provides a variety of places for learning all over the island. Through comprehensive activities including lectures, surveys, researches and environmental improvements which utilize the island's resources, the various charms of it will be rediscovered, rebuilt and widely communicated.

期間：通年

会場：三宅島全域 ほか

主催：東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、三宅島大学プロジェクト実行委員会、三宅村

三宅島大学 講座「マネージャー トーク【三宅島のひと】」
"Manager's Talk [Person on the Miyakejima]" in Miyakejima University programs三宅島大学 講座
「三宅島ネイチャーウォーク」
"Miyakejima Nature Walk" in Miyakejima University programs

CLOSE UP!

このプログラムに注目!

多彩な文化が集まる「東京」の魅力を堪能できる東京クリエイティブ・ウィークス。今年は10月1日～11月4日に開催します。東京都の美術館や数多くの共催・参加団体とともに東京の秋を盛り上げます。

"Tokyo Creative Weeks" is an annual event to provide a wide variety of Tokyo culture. This year, the event is slated for October 1-November 4 (tentative) so that the autumn season can be enjoyed with a number of participating groups, museums and cultural facilities.

平成25年度 東京クリエイティブ・ウィークス 広報ビジュアル





完成予想図

Rendering

改修工事のため全面休館中 2014年リニューアル開館

Temporarily closed for renovations - will reopen in 2014

東京都庭園美術館は2011年11月より、リニューアル工事のため全面休館しています。今回の工事では、歴史的建造物である旧朝香宮邸の保存と建物の特性を生かした美術館活動の実施を目的に、本館(旧朝香宮邸)改修工事、及び管理棟(かつての新館)改築工事を行います。休館中もウェブサイトでは、改修工事の進捗状況、リニューアルオープンに向けての最新情報などを発信しています。

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum has been closed since November 1, 2011 for renovations. The work is taking place on the main building (the former residence of the family of Prince Asaka) and the administrative building (temporarily called the new annex), with the purpose of conserving the historic structure of this former residence and to enable the buildings to function more effectively as an art museum. During the closure period, the museum has been reporting the ongoing renovation process and its preparatory activities.

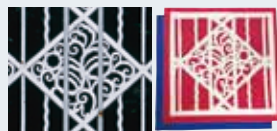
Please see the Website at <http://www.teien-art-museum.ne.jp>

CLOSE UP!

このプロジェクトに注目!

庭園美術館が、新たなプロジェクト「みんなでつくる『たてもの文様帖』東京都庭園美術館×下中菜穂」をはじめました! 街中で、通勤途中で、普段は通り過ぎてしまう建物も、実はよく見ると装飾が付いている……。そんなあなたの発見を切り紙で写し取り、みんなでシェアするこのプロジェクト。詳細は美術館ウェブサイトをご覧ください。(http://www.teien-art-museum.ne.jp/monyoo/)

"Tatemono Monyo-cho" is a new column introducing a project that creates building decorations from paper cutouts. (The site is written in Japanese only)



左)庭園美術館の正門の写真。右)正門の文様で作った切り紙作品。
このプロジェクトでは、みなさんが採集した文様の写真や切り紙作品の投稿を募集。ぜひご応募ください。



東京都歴史文化財団と『美術手帖』の連動企画 「第3回トーキョー・アート・ナビゲーション・コンペティション」

8月より作品募集を開始

A collaborative project of the Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture and BIJUTSU TECHO "The 3rd Tokyo Art Navigation Competition" Call for works from August

公益財団法人東京都歴史文化財団が運営するウェブサイト「トーキョー・アート・ナビゲーション」では、2011年よりアーティストの発掘・支援を目的に『美術手帖』と連動してコンペティションを開催。これまでに油画、日本画、映像など、多彩な分野で今後の活躍が期待されるアーティストを選出しています。大賞受賞者は美術出版社内のBT Galleryで個展開催の権利を授与。展示の様子は『美術手帖』や「トーキョー・アート・ナビゲーション」で紹介されます。8月より作品の募集を開始しますので、ぜひこのチャンスを活かしてください。

The Tokyo Art Navigation Website, managed by the Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture, along with Bijutsu Techo monthly magazine, has held an annual competition project since 2011 to seek and support artists. So far, the competition has sent promising artists in various fields including oil painting, Nihon-ga and films. The grand prize winners are offered the chance to hold solo exhibitions at BT Gallery located in Bijutsu Shuppansha Co., Ltd. The exhibition scenes are also introduced in "Bijutsu Techo" and "Tokyo Art Navigation". Works are to be accepted from August. Please take advantage of this opportunity!

応募資格: ウェブサイト「トーキョー・アート・ナビゲーション」の「アーティストファイル」登録者

応募期間: 8月19日(月)~9月30日(月)

対象分野: ドローイング、ペインティング、写真、動画など(作品サイズ規定あり)

大賞1名: BT Galleryで2014年3月に個展開催、『美術手帖』1年間プレゼント

審査方法: 作品画像審査(1次審査)、実物作品審査(2次審査)

審査員: 『美術手帖』編集部、公益財団法人東京都歴史文化財団

主催: 美術出版社

共催: 公益財団法人東京都歴史文化財団

応募方法ほか詳細は「トーキョー・アート・ナビゲーション」で告知

<http://tokyoartnavi.jp/>

Qualification: Register to "Artist File"

Application period: Aug 19 Mon - Sep 30 Mon

Qualified fields: Visual Arts (art, design, moving image with the regulation of work sizes)



第2回大賞、金子朋樹さんの受賞作品展。
BT Galleryでの展示風景

開館時間延長のお知らせ(予定)

Extended opening hours (tentative)

夕方涼しい時間帯や、会社帰りにも展覧会をお楽しみいただけるよう、東京都歴史文化財団では、下記の期間、週末の開館時間を21時まで延長します。

各館の名品とともに、暑さを忘れる至極のひと時をお過ごしください。多くの皆様のご来館をお待ちしております。
※詳しくは、各館のウェブサイトをご確認ください。

The facilities of the Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture named below will extend their opening hours until 9 p.m. on certain days during the following period:

期間 7月18日(木)~9月28日(土)の下記実施曜日 Jul 18 (Thu)-Sep 28 (Sat)

対象施設/実施曜日 Facilities, days with extended hours

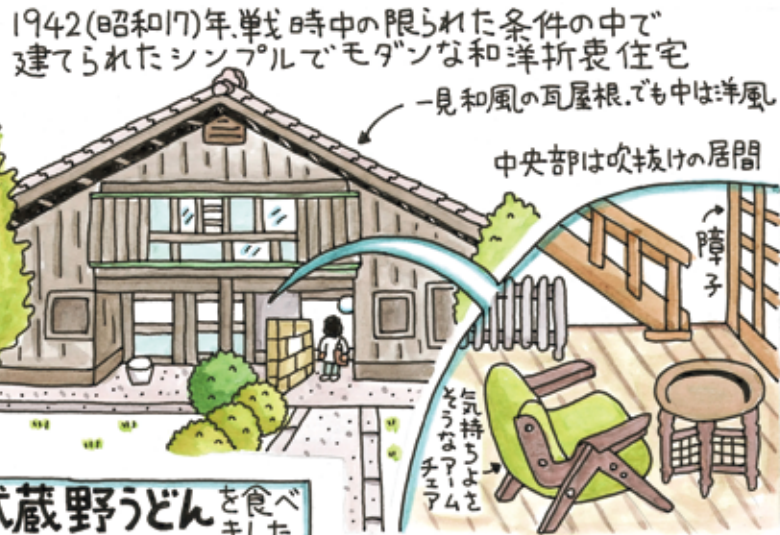
- ・東京都江戸東京博物館 毎週土曜日 Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum: Every Sat
- ・東京都写真美術館 毎週木・金曜日 Tokyo Metropolitan Museum of Photography: Every Thu and Fri
- ・東京都現代美術館 毎週金曜日 Museum of Contemporary Art Tokyo: Every Fri
- ・東京都美術館 毎週金曜日 Tokyo Metropolitan Art Museum: Every Fri

江戸東京
たてもの園

現地保存が不可能な 歴史的文化的価値の高い建造物を移築して展示する里外博物館です



前川國男邸
東京文化会館や東京都美術館を設計した建築家の自邸



東京にあるさまざまな文化施設やその周りにあるおもしろいもの、珍しいもの、美味しいものをその見どころ、食べどころをイラスト・ルポでご案内。1回目はぶらぶら歩きも楽しいヨコ!

絵・文/溝口イタル

連載：東京「鉄道」風景

A look at Tokyo's railways

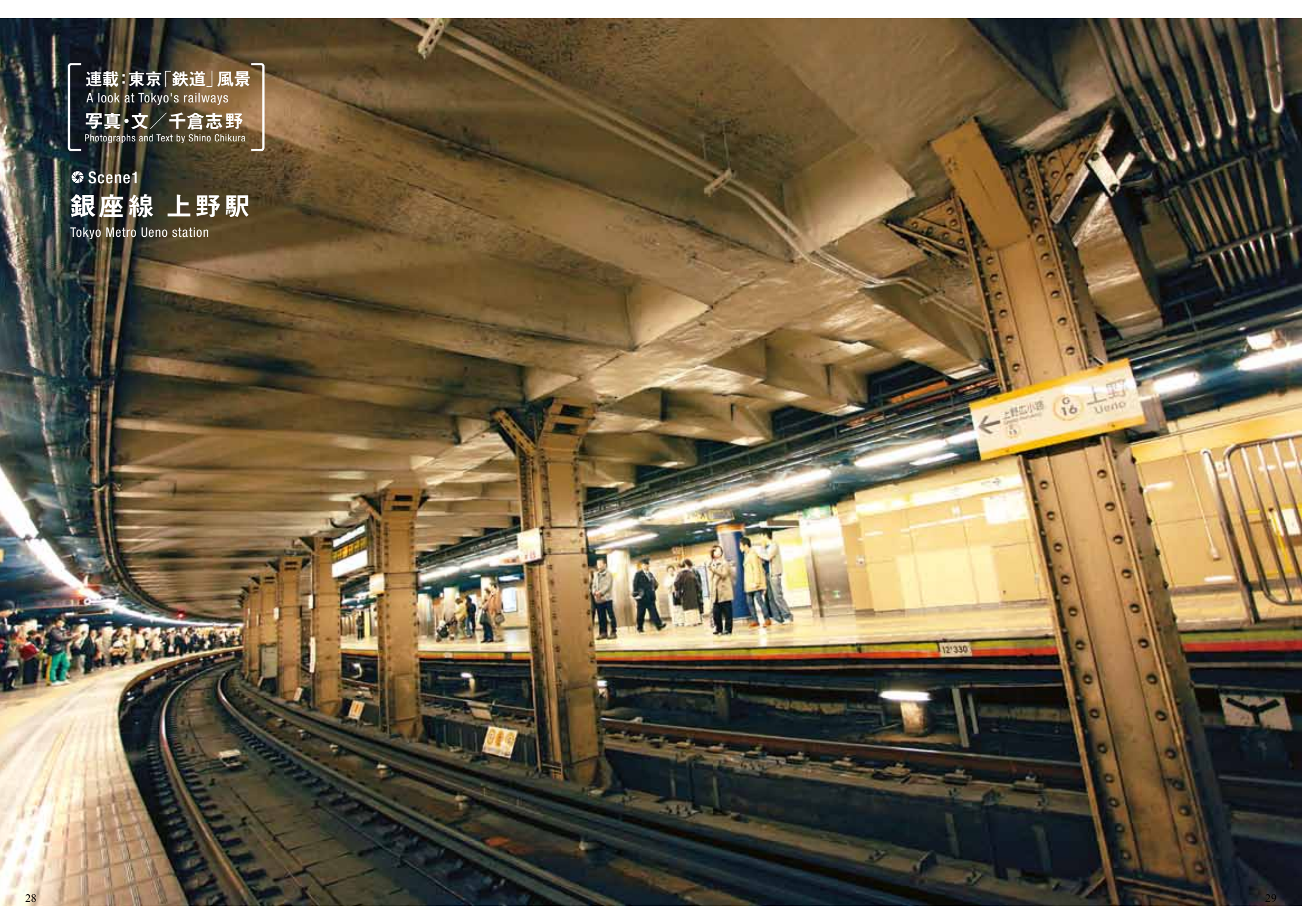
写真・文 / 千倉志野

Photographs and Text by Shino Chikura

Scene 1

銀座線 上野駅

Tokyo Metro Ueno station



日本で最初の地下鉄

The First Subway in Japan

東京メトロ銀座線。カメラ片手に上野駅のホームに立つ。普段は通りすぎるだけの駅だけど、こうして改めて眺めているとあまりに慌ただしい空間にびっくりする。恐るべし銀座線。次から次へと電車がやってくるのだ。そしてそこから吐き出されてはまた飲み込まれて行くたくさんの人々。

東京だなあ。その東京で、いや日本で初めてできた地下鉄がこの銀座線なんだそう。よく見ると、そこかしこに86年の長い歴史が感じられる。線路と線路の間の鉄骨のなんと年期の入ったこと！天井を見上げれば、よくわからない細いパイプがむき出しになっている。ホームの一角には、開通当初に使われていた煉瓦の壁が一部残っている場所がある。

東京の地下鉄は新しい路線も少しずつ増え、改装された駅はとっても明るくピカピカしている。それとは反対に、銀座線のいくつかの駅は少し薄暗くて、ホームも狭い。でもそれがかえってロンドンやパリの地下鉄のようでもあり、フォトジェニック。「日常のあたり前」を、こうして改めて見直してみるのも、いいものだね。



Tokyo Metro Ginza Line. I am standing at a platform in Ueno station with a camera in hand. While this is a station I usually just pass through, watching it like this through fresh eyes, I am surprised by the fact that it is an extremely busy space. The Ginza Line – what an incredible subway line it is. Trains arrive at the station one after another. Many people are thrown out of the trains, while many others are swallowed into them.

This is typical Tokyo. Apparently the first subway line opened in Tokyo, or to put it more broadly in all of Japan, was the Ginza Line. Observing it closely, I can feel its 86 years long history here and there. How well-seasoned the steel frames between the lines look! Looking up, I see the exposed ceiling and thin pipes, the functions of which I do not know. One corner of the platform contains a space where part of a brick wall used at the time of its opening still remains.

Little by little, Tokyo's subway has grown with opening of new lines. Renovated stations look very bright and shining. On the contrary, several stations on the Ginza Line appear slightly dim, and their platforms are narrow. But such a look is rather photogenic, as it generates an atmosphere similar to the subways of London and Paris. I think it is a good experience to review "ordinary things in daily life" like this.



千倉 志野 Chikura Shino

1977年横浜生まれ。学習院大学文学部ドイツ文学科卒業後、スタジオ・アシスタントを経て、2003年にドイツ・ベルリンにて写真を学ぶ。フォトグラファーとして、「人」「旅」「自転車」をキーワードに国内外で撮影を行う。

Born in Yokohama in 1977. After majoring in German Literature at the Faculty of Letters in Gakushuin University, she worked as a studio assistant, following which she went to Berlin, Germany to work as a photographer assistant in 2003. "People," "travel" and "bicycles" are the keywords in the pictures she takes as a photographer.

<http://www.shinofoto.net/>

[今月の撮影スポット]

銀座線 上野駅

地下鉄銀座線の浅草駅から上野駅間は、日本で最初の地下鉄として1927(昭和2)年に開通。H型鋼を大量に使用した構造は、開業当時の姿を残している。銀座線浅草駅～渋谷駅は、経済産業省により近代化産業遺産に指定されている。

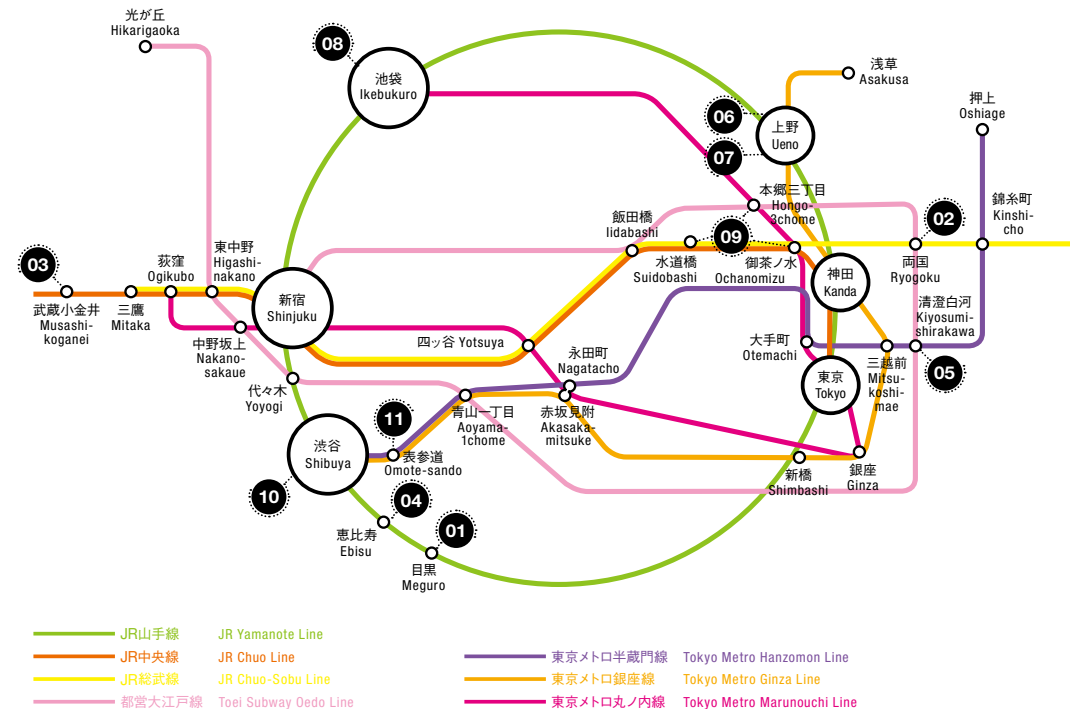
Ueno Station, Tokyo Metro Ginza Line

The section between Asakusa station and Ueno station on the Tokyo Metro Ginza Line opened in 1927 as the first subway line in Japan. Its structure, which used a large amount of H-shaped steel, still retains the figure of the time of its opening. The entire Ginza Line between Asakusa station and Shibuya station has been designated by the Ministry of Economy, Trade and Industry as a site of "Heritage of Industrial Modernization."

Maps & Information

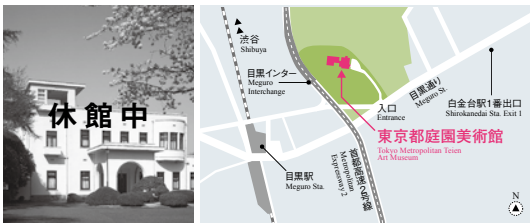
- 公益財団法人東京都歴史文化財団
Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture
<http://www.rekibun.or.jp>
- トーキョー・アート・ナビゲーション
Tokyo Art Navigation
<http://tokyoartnavi.jp>
- 観覧料について(対象:東京都江戸東京博物館の常設展・江戸東京たてもの園・東京都現代美術館の常設展、東京都写真美術館の収蔵展)
・都内在住・在学の中学生、小学生以下は無料
・65歳以上の方は、一般料金の半額、毎週第3水曜日は無料
・毎月第3土曜日・日曜日(家族ふれあいの日)は、18歳未満のお子さまを同伴する方は半額
・観覧料の記載がない場合は、展覧会・催物によって金額が異なります
Admission Fee (Permanent Exhibition of Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum, Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum, Permanent Exhibition of Museum of Contemporary Art Tokyo, and Collection Exhibition of Tokyo Metropolitan Museum of Photography)
・ Admission Free : Elementary and junior high school students reside or go to school in Tokyo.
・ Half Price : Seniors (65 and over)
・ Seniors (65 and over) are admitted for free on the third Wed of every month.
・ Adults accompanying children under 18 years old are admitted for half price on the third weekend of every month.
・ Fees may vary depending on the exhibitions and events. So, please confirm if fees are not indicated.
- 休館日は各館異なります。詳細はカレンダーページをご確認ください
Closed day may vary by facility. Please check the calendar pages for further details.

主な路線図 Route map



01 東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum



改修工事のため全面休館中 2014年中リニューアル開館予定
TEMPORARILY CLOSED FOR RENOVATIONS - WILL REOPEN IN 2014

所在地:〒108-0071 港区白金台5-21-9 交通:都営三田線・東京メトロ南北線白金台駅1番出口より徒歩6分、JR目黒線東口・東急目黒線目黒駅正面口より徒歩7分 休館日:第2-第4水曜日(祝日の場合は翌木曜日)、年末年始 開館:10:00-18:00

Address: 5-21-9 Shirokanedai, Minato-ku, Tokyo 108-0071 Closed: 2nd and 4th Wednesday (or Thursday when Wednesday falls on a national holiday) and New Year holidays Open: 10:00-18:00
Tel: 03-3443-0201 URL: www.teien-art-museum.ne.jp

02 東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum



所在地:〒130-0015 墨田区横綱1-4-1 交通:JR两国駅西口より徒歩3分、都営大江戸線两国駅A4 出口より徒歩1分 休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 観覧料:常設展は一般600円、大学生480円、65歳以上・都外中・高校生300円、都内中・小学生以下は無料 開館:9:30-17:30(土曜日-19:30)

Address: 1-4-1 Yokoami, Sumida-ku, Tokyo 130-0015 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Admission Fee: Adults ¥600/Students (College/University) ¥480/Seniors (65 and over), Junior high school (outside of Tokyo) and high school students ¥300 Open: 9:30-17:30 (-19:30 Saturday)
Tel: 03-3626-9974 URL: www.edo-tokyo-museum.or.jp

03 江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum



所在地:〒184-0005 小金井市桜町3-7-1 交通:JR 武蔵小金井駅北口よりバス2番3番乗り場より「小金井公園西口」下車徒歩5分、西武新宿線花小金井駅南口よりバス「南花小金井」(小金井街道沿い)バス停より「武蔵小金井駅」行、「小金井公園西口」下車徒歩5分 休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 観覧料:一般400円、大学生320円、65歳以上・都外中・高校生200円、都内中・小学生以下は無料 開館:9:30-16:30(4-9月-17:30)

Address: 3-7-1 Sakura-cho, Koganei-shi, Tokyo 184-0005 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Admission Fee: Adults ¥400/Students (College/University) ¥320/Seniors (65 and over), Junior high school(outside of Tokyo) and high school students ¥200 Open: 9:30-16:30 (-17:30, Apr.-Sep.)
Tel: 042-388-3300 URL: www.tatemonoen.jp

04 東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography



所在地:〒153-0062 目黒区三田1-13-3(恵比寿ガーデンプレイス内) 交通:JR恵比寿駅東口より徒歩7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分 休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 開館:10:00-18:00(木・金曜日-20:00)

Address: Yebisu Garden Place, 1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153-0062 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Open: 10:00-18:00 (-20:00 Thursdays and Fridays)
Tel: 03-3280-0099 URL: www.syabi.com

05 東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo



所在地:〒135-0022 江東区三好4-1-1 交通:東京メトロ半蔵門線清澄白河駅B2出口より徒歩9分、都営大江戸線清澄白河駅A3出口より徒歩13分、東京メトロ東西線木場駅3番出口より徒歩15分、バス停「木場駅前」から(業10)「とうきょうスカイツリー駅前」行、(東20)「錦糸町駅前」行、JR東京駅丸の内北口2番乗り場よりバス(東20)「錦糸町駅前」行、すべて「東京都現代美術館前」下車 休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 観覧料:常設展は一般500円、大学生400円、高校生・65歳以上250円、中学生以下無料 開館:10:00-18:00

Address: 4-1-1 Miyoshi, Koto-ku, Tokyo 135-0022 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Admission Fee: Adults ¥500/Students (College /University) ¥400/High school students and seniors (65 and over) ¥250 Open: 10:00-18:00
Tel: 03-5245-4111 URL: www.mof-art-museum.jp

06 東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum



所在地:〒110-0007 台東区上野公園8-36 交通:JR上野公園口より徒歩7分、東京メトロ銀座線・日比谷線・上野駅7番出口より徒歩10分、京成電鉄上野駅より徒歩10分

休館日:第1・第3月曜日、特別展・企画展は月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 開館:9:30-17:30(特別展開催中の特別展・企画展は金曜日20:00まで)

Address: 8-36 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-0007 Closed: Rental Gallery: 1st and 3rd Monday and New Year holidays / Special Exhibition Gallery: Mondays (or Tuesdays when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Open: 9:30-17:30 (Special Exhibition: 20:00 Friday)
Tel: 03-3823-6921 URL: www.tobikan.jp

07 東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan



所在地:〒110-8716 台東区上野公園5-45 交通:JR上野公園口より徒歩1分、東京メトロ銀座線・日比谷線・上野駅7番出口より徒歩5分、京成電鉄上野駅より徒歩7分 休館日:年末年始

開館:9:00-22:00
Address: 5-45 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-8716 Closed: New Year holidays Open: 9:00-22:00
Tel: 03-3828-2111 URL: www.t-bunka.jp

08 東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre



所在地:〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 交通:JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分、地下2b出口直結 休館日:年末年始 開館:9:00-22:00

Address: 1-8-1 Nishi-Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo 171-0021 Closed: New Year holidays Open: 9:00-22:00
Tel: 03-5391-2111 URL: www.geikeiji.jp

09 トーキョーワンダーサイト本郷

Tokyo Wonder Site Hongo



所在地: 〒113-0033 文京区本郷2-4-16 **交通:** JR 御茶ノ水駅 御茶ノ水橋口・水道橋駅東口、都営三田線水道橋駅A1出口、東京メトロ丸の内線本郷三丁目駅1番出口、御茶ノ水駅1番出口、都営大江戸線本郷三丁目駅3番出口より各徒歩7分 **休館日:** 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 **開館:** 11:00-19:00

Address: 2-4-16 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033 **Closed:** Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays **Open:** 11:00-19:00

Tel: 03-5689-5331 **URL:** www.tokyo-ws.org

10 トーキョーワンダーサイト渋谷

Tokyo Wonder Site Shibuya



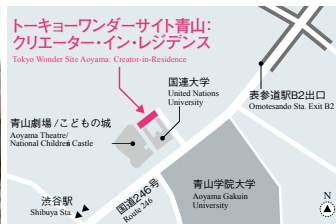
所在地: 〒150-0041 渋谷区神南1-19-8 **交通:** JR・東急東横線・田園都市線・京王井の頭線・東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線渋谷駅ハチ公口より徒歩8分 **休館日:** 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 **開館:** 11:00-19:00

Address: 1-19-8 Jinnan, Shibuya-ku, Tokyo 150-0041 **Closed:** Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays **Open:** 11:00-19:00

Tel: 03-3463-0603 **URL:** www.tokyo-ws.org

11 トーキョーワンダーサイト青山: クリエーター・イン・レジデンス

Tokyo Wonder Site Aoyama: Creator-in-Residence



所在地: 〒150-0001 渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山 SOUTH棟3階 ※オープン・スタジオ、レクチャー等開催時のみ一般公開 **交通:** 東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線表参道駅B2出口より徒歩7分、JR・東急東横線・田園都市線・京王井の頭線、東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線各線渋谷駅より徒歩8分

Address: COSMOS Aoyama SOUTH 3F 5-53-67 Jingumae, Shibuya-ku, Tokyo 150-0001 ※ Open to the public for events only

Tel: 03-5766-3732 **URL:** www.tokyo-ws.org

ART NEWS TOKYO 2013.7-9

- 発行日 : 2013年7月1日(季刊)1.4.7.10月発行
- 発行 : 公益財団法人東京都歴史文化財団
〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1 Tel. 03-5610-3503
- 企画 : 公益財団法人東京都歴史文化財団 事務局総務課企画広報係
- 編集 : 株式会社美術出版社
- デザイン : 宮外麻周(m-nina)
- 翻訳 : 株式会社アーバン・コネクションズ
- 印刷・製本 : 富士美術印刷株式会社

©Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture. All rights reserved.

本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。

※掲載した情報は2013年6月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。



TOKYO 2020

CANDIDATE CITY

2020年 オリンピック・
パラリンピックを日本へ!

ART NEWS TOKYO Art & Culture Calendar

7-9月の催事カレンダー

● 休館日は各館異なります。カレンダー下の休館日欄をご確認ください。● 本表は主な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。● 掲載した情報は2013年6月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。● 掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。
● The information herein as of June 2013. Schedules may be subject to change due to unavoidable circumstances. Please refer to the website of each facility for details.
● English interpretation may not be provided at each event.

7

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed
東京都庭園美術館 Tokyo Metropolitan Teien Art Museum	改修工事のため全面休館（平成26年中リニューアル開館予定） Temporarily closed for renovations (will reopen in 2014)																														
東京都江戸東京博物館 Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum	特別展 江戸東京博物館 開館20周年記念特別展 ファインバーグ・コレクション展—江戸絵画の奇跡— 5.21-7.15 The Flowering of Edo Period Painting: Japanese Masterworks From The Feinberg Collection													江戸東京博物館 開館20周年記念特別展 花開く 江戸の園芸 7.30-9.1 20th anniversary special exhibition of the opening of Edo-Tokyo Museum, Flowers in Bloom: The Culture of Gardening in Edo																	
	常設展 発掘された日本列島 2013 6.8-7.25 Excavated Japanese Archipelago 2013																														
江戸東京たてももの園 Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum	展示室 江戸東京たてももの園 開館20周年記念特別展 大奥女中とゆかりの寺院 5.18-7.7 Special Exhibition Room 20th anniversary special exhibition of the opening of Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum, Women of the Inner Palace and Their Associated Temples													常設展「武蔵野の歴史と民俗—江戸東京たてももの園収蔵品展—」 7.20-3.2 History and folklore of Musashino: Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum Collection Exhibition																	
	園内 Outdoor Exhibition Area													小暑のつどい 7.6-7 Summer Gathering																	
東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography	3F 展示室 平成25年度 東京都写真美術館コレクション展 写真のエッセー五つのエレメント 5.11-7.7 Exhibition Gallery 3F The Aesthetics of Photography-Five Elements													平成25年度 東京都写真美術館コレクション展 写真のエッセー—写真作品のつくりかた— 7.13-9.16 The Aesthetics of Photography - The Making of Photographic Works																	
	2F 展示室 日本写真の1968 5.11-7.15 1968-JAPANESE PHOTOGRAPHY													米田知子 暗なところで逢えれば 7.20-9.23 Yoneda Tomoko: We shall meet in the place where there is no darkness																	
	B1F 展示室 世界報道写真展 2013 6.8-8.4 World Press Photo 2013																														
東京都現代美術館 Museum of Contemporary Art Tokyo	常設展示室 MOTコレクション 第1部 わたしたちの90年 1923-2013 第2部 ぼくからきみへ—ちかくとおいたび— 6.29-9.8 Collection Gallery MOT Collection Part 1: Our Ninety Years 1923-2013 Part 2: From Me to You—Close but Distant Journeys																														
	企画展示室 3F フランス・アリス展 GIBALTAR FOCUS ジブラルタル海峡編 6.29-9.8 Exhibition Gallery 3F Francis Alys GIBALTAR FOCUS																														
	企画展示室 1F オバケとパンツとお星さま—こどもが、こどもで、いられる場所— 6.29-9.8 Exhibition Gallery 1F Ghosts, Underpants and Stars-A place where children can be children																														
	企画展示室 B2F 手塚治虫×石森章太郎 マンガのちから 6.29-9.8 Exhibition Gallery B2F The Power of Manga: Osamu Tezuka and Shotaro Ishinomori																														
東京都美術館 Tokyo Metropolitan Art Museum	企画展示室 ルーヴル美術館展—地中海 四千年のものがたり— 7.20-9.23 Exhibition Gallery The Mediterranean World: The Collections from the Louvre													福田美蘭展 7.23-9.29 Fukuda Miran																	
	ギャラリーA、B、C Gallery A・B・C																														
トーキョーワンダーサイト Tokyo Wonder Site	本郷 Hongo													TWS-Emerging 200/201/202/203 平川正、小林あずさ、西村有、三瓶玲奈 7.6-7.28 TWS-Emerging 200/201/202/203 Tadashi Hirakawa, Azusa Kobayashi, Yu Nishimura, Reina Mikame																	
	渋谷 Shibuya													トーキョー・ストーリー—2013 第二章— 5.2-7.7 TOKYO STORY 2013 PART2																	
	青山:クリエイター・インレジデンス Aoyama: Creator-in-Residence													トーキョー・ストーリー—2013 第三章— 7.13-9.23 TOKYO STORY 2013 PART3																	
														OPEN STUDIO 2013/7月 7.20 OPEN STUDIO 2013 July																	

■ 休館日：月曜日（祝日の場合は翌日） ※東京都美術館は第1・第3月曜日、特別展・企画展は毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
Closed: Mon (or Tue when Mon falls on a national holiday) Tokyo Metropolitan Art Museum is closed on 1st and 3rd Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day)

8

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
東京都庭園美術館 Tokyo Metropolitan Teien Art Museum	改修工事のため全面休館（平成26年中リニューアル開館予定） Temporarily closed for renovations (will reopen in 2014)																														
東京都江戸東京博物館 Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum	特別展 江戸東京博物館 開館20周年記念特別展 花開く 江戸の園芸 7.30-9.1 Special Exhibition 20th anniversary special exhibition of the opening of Edo-Tokyo Museum, Flowers in Bloom: The Culture of Gardening in Edo																														
	常設展 市民からのおくりもの 2013 8.3-9.1 Gifts from the Citizens 2013 from the Museum's Recent Acquisitions, 2012-2013																														
江戸東京たてももの園 Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum	展示室 常設展「武蔵野の歴史と民俗—江戸東京たてももの園収蔵品展—」 7.20-3.2 Special Exhibition Room History and folklore of Musashino: Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum Collection Exhibition																														
	園内 Outdoor Exhibition Area																														
東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography	3F 展示室 平成25年度 東京都写真美術館コレクション展 写真のエッセー—写真作品のつくりかた— 7.13-9.16 Exhibition Gallery 3F The Aesthetics of Photography -The Making of Photographic Works																														
	2F 展示室 米田知子 暗なところで逢えれば 7.20-9.23 Yoneda Tomoko: We shall meet in the place where there is no darkness																														
	B1F 展示室 世界報道写真展 2013 6.8-8.4 World Press Photo 2013													岩合光昭写真展 ネコライオン 8.10-10.20 Iwago Mitsuaki CATS&LIONS																	
東京都現代美術館 Museum of Contemporary Art Tokyo	常設展示室 MOTコレクション 第1部 わたしたちの90年 1923-2013 第2部 ぼくからきみへ—ちかくとおいたび— 6.29-9.8 Collection Gallery MOT Collection Part 1: Our Ninety Years 1923-2013 Part 2: From Me to You—Close but Distant Journeys																														
	企画展示室 3F フランス・アリス展 GIBALTAR FOCUS ジブラルタル海峡編 6.29-9.8 Exhibition Gallery 3F Francis Alys GIBALTAR FOCUS																														
	企画展示室 1F オバケとパンツとお星さま—こどもが、こどもで、いられる場所— 6.29-9.8 Exhibition Gallery 1F Ghosts, Underpants and Stars-A place where children can be children																														
	企画展示室 B2F 手塚治虫×石森章太郎 マンガのちから 6.29-9.8 Exhibition Gallery B2F The Power of Manga: Osamu Tezuka and Shotaro Ishinomori																														
東京都美術館 Tokyo Metropolitan Art Museum	企画展示室 ルーヴル美術館展—地中海 四千年のものがたり— 7.20-9.23 Exhibition Gallery The Mediterranean World: The Collections from the Louvre													福田美蘭展 7.23-9.29 Fukuda Miran																	
	ギャラリーA、B、C Gallery A・B・C																														
トーキョーワンダーサイト Tokyo Wonder Site	本郷 Hongo													TWS-Emerging 204/205/206/207 改田憲康、江川純太、松井沙都子、市川紗也子 8.3-8.25 TWS-Emerging 204/205/206/207 Noriyasu Kaida, Junta Egawa, Satoko Matsui, Sayako Ichikawa																	
	渋谷 Shibuya													トーキョー・ストーリー—2013 第三章— 7.13-9.23 TOKYO STORY 2013 PART3																	
	青山:クリエイター・インレジデンス Aoyama: Creator-in-Residence													※詳細はウェブサイトへ *Please see our website for further details.																	

■ 休館日：月曜日（祝日の場合は翌日） ※東京都美術館は第1・第3月曜日、特別展・企画展は毎週月曜日（祝日の場合は翌日） ※東京都江戸東京博物館は、12（月）開館
Closed: Mon (or Tue when Mon falls on a national holiday) Tokyo Metropolitan Art Museum is closed on 1st and 3rd Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day) *Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum is open on 12 Mon.

9

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	
東京都庭園美術館 Tokyo Metropolitan Teien Art Museum	改修工事のため全面休館（平成26年中リニューアル開館予定） Temporarily closed for renovations (will reopen in 2014)																														
東京都江戸東京博物館 Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum	特別展 江戸東京博物館 開館20周年記念特別展 花開く 江戸の園芸 7.30-9.1 Special Exhibition 20th anniversary special exhibition of the opening of Edo-Tokyo Museum, Flowers in Bloom: The Culture of Gardening in Edo													江戸東京博物館開館20周年記念特別展 明治のころ—モースが見た庶民の暮らし— 9.14-12.8 20th anniversary special exhibition of the opening of Edo-Tokyo Museum, Spirit of the Meiji Era—The Lives of the People as Seen by Edward Morse																	
	常設展 市民からのおくりもの 2013 8.3-9.1 Gifts from the Citizens 2013 from the Museum's Recent Acquisitions, 2012-2013																														
江戸東京たてももの園 Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum	展示室 常設展「武蔵野の歴史と民俗—江戸東京たてももの園収蔵品展—」 7.20-3.2 Special Exhibition Room History and folklore of Musashino: Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum Collection Exhibition																														
	園内 Outdoor Exhibition Area																														
東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography	3F 展示室 平成25年度 東京都写真美術館コレクション展 写真のエッセー—写真作品のつくりかた— 7.13-9.16 Exhibition Gallery 3F The Aesthetics of Photography - The Making of Photographic Works													平成25年度 東京都写真美術館コレクション展 写真のエッセー—コスモス 写された自然の形象（仮称） 9.21-11.17 The Aesthetics of Photography - Cosmos Natural Phenomena in Photographs (tentative)																	
	2F 展示室 米田知子 暗なところで逢えれば 7.20-9.23 Yoneda Tomoko: We shall meet in the place where there is no darkness													須田一政 9.28-12.1 Suda Issai																	
	B1F 展示室 岩合光昭写真展 ネコライオン 8.10-10.20 Iwago Mitsuaki CATS&LIONS																														
東京都現代美術館 Museum of Contemporary Art Tokyo	常設展示室 MOTコレクション 第1部 わたしたちの90年 1923-2013 第2部 ぼくからきみへ—ちかくとおいたび— 6.29-9.8 Collection Gallery MOT Collection Part 1: Our Ninety Years 1923-2013 Part 2: From Me to You—Close but Distant Journeys																														
	企画展示室 3F フランス・アリス展 GIBALTAR FOCUS ジブラルタル海峡編 6.29-9.8 Exhibition Gallery 3F Francis Alys GIBALTAR FOCUS																														
	企画展示室 1F オバケとパンツとお星さま—こどもが、こどもで、いられる場所— 6.29-9.8 Exhibition Gallery 1F Ghosts, Underpants and Stars-A place where children can be children																														
	企画展示室 B2F 手塚治虫×石森章太郎 マンガのちから 6.29-9.8 Exhibition Gallery B2F The Power of Manga: Osamu Tezuka and Shotaro Ishinomori																														
東京都美術館 Tokyo Metropolitan Art Museum	企画展示室 ルーヴル美術館展—地中海 四千年のものがたり— 7.20-9.23 Exhibition Gallery The Mediterranean World: The Collections from the Louvre													福田美蘭展 7.23-9.29 Fukuda Miran																	
	ギャラリーA、B、C Gallery A・B・C																														
トーキョーワンダーサイト Tokyo Wonder Site	本郷 Hongo													TWS-Emerging 209/210/211 菅亮平、河合真里、西村有未 8.31-9.23 TWS-Emerging 209/210/211 Ryohei Kan, Mari Kawai, Yumi Nishimura																	
	渋谷 Shibuya													トーキョー・ストーリー—2013 第三章— 7.13-9.23 TOKYO STORY 2013 PART3																	
	青山:クリエイター・インレジデンス Aoyama: Creator-in-Residence													OPEN STUDIO 2013/9月 9.21 OPEN STUDIO 2013 September																	

■ 休館日：月曜日（祝日の場合は翌日） ※東京都美術館は第1・第3月曜日、特別展・企画展は毎週月曜日（祝日の場合は翌日） ※東京都江戸東京博物館は、17日（火）、24日（火）開館 ※東京都現代美術館は9日（月）～10月2日（水）休館
Closed: Mon (or Tue when Mon falls on a national holiday) Tokyo Metropolitan Art Museum is closed on 1st and 3rd Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day) *Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum is open on 17 Tue, 24 Tue *Museum of Contemporary Art Tokyo is closed from Sep 9 Mon to Oct 2 Wed.

<h1>7 東京文化会館</h1> <p>Tokyo Bunka Kaikan 休館日：29・30日 Closed: 29 Mon, 30 Tue</p>		<p>4 Thu Recital Hall</p> <p>Tokyo Bunka Kaikan Morning Concert Vol.72 Start:11:00 Parformer:Himeko Takida(Trombone), Shoko Komatsu(Piano) Admission:¥500</p>	
<p>★主な主催公演</p>		<p>14 Sun - 20 Sat Recital Hall</p> <p>The 11th Tokyo Music Competition 2013: The Second Round 14 Sun Wind wood section 15 Mon Piano section 19 Fri String section 20 Sat Vocal section Start:10:30 Admission:¥500</p>	
<p>4日 小ホール</p>	<p>東京文化会館モーニングコンサートVol.72 開演:11:00(10:30開場) 出演:滝田姫子(トロンボーン)、小松祥子(ピアノ) 曲目:ブラゼビッチ/トロンボーン協奏曲第2番 ほか 料金:全席自由 500円</p>	<p>24 Wed Recital Hall</p> <p>Morning Concert Summer Special Start:11:00 Performer:Yui Morishita (Piano), Takashi Yamada (Piano) Admission:¥500</p>	
<p>14~20日 小ホール</p>	<p>第11回東京音楽コンクール 第2次予選 14日 木管部門 15日 ピアノ部門 19日 弦楽部門 20日 声楽部門 開演:10:30(10:00開場) 料金:全席自由 500円</p>	<p>28 Sun Main Hall</p> <p>Summer Concert for Children "Cultural Activities in Ueno" Start:13:00 Performer: Michiyoshi Inoue(Conductor and commentator), Francisco Flores(Trumpet), Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra Admission:Elementary and Junior high school students: ¥1,000, S seats: ¥3,000, A seats: ¥2,000, B seats: ¥1,000(all reserved-seats)</p>	
<p>24日 小ホール</p>	<p>モーニングコンサート納涼スペシャル(夏風幻想〜ピアノ連弾で聴くオーケストラ〜) 開演:11:00(10:30開場) 出演:森下唯(ピアノ)、山田剛史(ピアノ) 曲目:ドビュッシー/海〜3つの交響的スケッチ(4手ピアノ版) ほか 料金:全席自由 500円</p>	<p>28 Sun Main Hall</p> <p>Backstage Tour"Summer Special" Start:16:00 Admission:¥300 (Sold out)</p>	
<p>28日 大ホール</p>	<p>夏休み子供音楽会2013(上野の森文化探検) 開演:13:00(12:00開場) 出演:井上道義(指揮とお話)、フランシスコフロレス(トランペット)、東京都交響楽団 曲目:アンダーソン/トランペット吹きの休日、ドビュッシー/海〜3つの交響的スケッチより[風と海との対話] ほか 料金:小中学生1,000円(全席共通)、大人S席3,000円、A席2,000円、B席1,000円(動物園、博物館、美術館等参加施設常設展無料入場・企画展等割引を含む)</p>	<p>31 Wed Main Hall</p> <p>Orchestra Concert "Sounds of Forests" vol.33 "Dance Dance Dance" Start:19:00 Performer:Junichi Hirokami (Conductor), Kyoko Takezawa (Violin), Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra Admission:S seats: ¥6,000, A seats: ¥ 4,000, B seats: ¥2,000(all reserved-seats)</p>	
<p>28日 大ホール</p>	<p>バックステージツアー「夏休みスペシャル!」 開演:16:00 料金:参加費(保険料含む)300円【完売】</p>	<h2>東京芸術劇場</h2> <p>Tokyo Metropolitan Theatre 休館日：8・29日 Closed: 8 Mon, 29 Mon</p>	
<p>31日 大ホール</p>	<p>《響の森》vol.33「ダンス・ダンス・ダンス」 開演:19:00(18:20開場) 出演:広上淳一(指揮)、竹澤恭子(ヴァイオリン)、東京都交響楽団 曲目:ラロ/ヴァイオリン協奏曲第2番「スペイン交響曲」、ブラームス/ハンガリー舞曲集(全21曲) ほか 料金:S席6,000円、A席4,000円、B席2,000円</p>		

<h1>9 東京文化会館</h1> <p>Tokyo Bunka Kaikan 休館日：24・25日 Closed: 24 Tue, 25 Wed</p>	
<p>★主な主催公演</p>	
<p>7日 小ホール</p>	<p>舞台芸術創造事業〜Dance×Percussion×Art〜 「ニルヴァーナ泥涇〜」土取利行 meets サルドノ W. クスモ 開演:18:00(17:30開場) 出演:土取利行(音楽家、パーカッション)、サルドノ W. クスモ(振付、舞踏家) 料金:S席5,800円、A席3,800円、B席2,000円</p>
<p>10日 小ホール</p>	<p>モーニングコンサートVol.73 開演:11:00(10:30開場) 出演:桑原志織(ピアノ) 曲目:ショパン/ピアノ・ソナタ第3番 ほか 料金:全席自由500円</p>
<p>18日 小ホール</p>	<p>創造・楽落ららぶ Vol.25 〜音楽家と落語家のコラボレーション〜 開演:11:00(10:30開場) 出演:三遊亭右紋(落語)、デュオ・ケナールバ:八木倫明(ケーナ)、池山由香(アルパ) 曲目:第一部 ミニコンサート、第2部 落語と音楽のコラボレーション「正しいラーメンの食べ方」 料金:全席自由500円</p>
<p>26日 大ホール ロビー (ホワイエ)</p>	<p>ティータイムコンサート 開演:13:00(12:30開場) 料金:入場無料</p>
<p>7 Sat Recital Hall</p>	<p>"Nirvana" - Toshi Tsuchitori meets Sardono W. Kusumo Start:18:00 Performer: Toshi Tsuchitori (Musician, Percussionist), Sardono W. Kusumo (Choreographer, Dancer) Admission: S seats: ¥5,800, A seats: ¥3,800, B seats: ¥2,000 (all reserved-seats)</p>
<p>10 Tue Recital Hall</p>	<p>Morning Concert Vol.73 Start:11:00 Performer: Shiori Kuwahara (Piano) Admission:¥500</p>
<p>18 Wed Recital Hall</p>	<p>The collaboration of Musician and Japanese traditional comic storyteller Vol.25 Start:11:00 Performer: Umon Sanyutei (Rakugo), Duo QuenArpa: Rimmei Yagi (Quena), Yuka Ikeyama (Arpa) Admission:¥500</p>
<p>26 Thu Main Hall Lobby (Foyer)</p>	<p>Teatime Concert Start:13:00 Admission: Free</p>

<h1>東京芸術劇場</h1> <p>Tokyo Metropolitan Theatre 休館日：9日 Closed: 9 Mon</p>	
<p>★主な主催公演</p>	
<p>8月3日〜1日 シアターウエスト</p>	<p>二兎社 「兄帰る」 作・演出:永井愛 出演:鶴見辰吾/草刈民代/堀部圭亮/伊東由美子/小豆畑雅一/枝元 萌/藤夏子/二瓶鮎一 料金:一般5,500円、25歳以下割引3,000円ほか</p>
<p>6日〜8日 プレイハウス</p>	<p>芸劇dance 勅使川原三郎新作公演「第二の秋」 演出:振付・美術・照明:勅使川原三郎 出演:勅使川原三郎、佐東利穂子、ジフ 料金:一般S席5,500円、A席4,000円、65歳以上4,500円、25歳以下3,000円、高校生1,000円</p>
<p>12日〜16日 シアターイースト</p>	<p>芸劇eyes番外編「God save the Queen」 出演団体:大池容子(うさぎストライプ)/高羽彩(タカハ劇団)/西尾佳織(鳥公園)/鳥山フキ(ワフフランコ)/市原佐都子(Q) ※五十音順 料金:前売2,500円、当日2,800円(日時指定・整理番号付自由席)</p>
<p>13日 コンサートホール</p>	<p>コンサートオペラ バルトーク 歌劇「青ひげ公の城」 開演:19:00(18:00開場) 指揮:井上道義 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団 出演:青ひげ公/コヴァーチ・イシュトヴァーン、ユーディット/メラース・アンドレア、吟遊詩人/仲代達矢</p>

<h1>8 東京文化会館</h1> <p>Tokyo Bunka Kaikan 休館日：5〜17日 Closed: 5 Mon-17 Sat</p>		<h1>東京芸術劇場</h1> <p>Tokyo Metropolitan Theatre 休館日：12・13日 Closed: 12 Mon, 13 Tue</p>
<p>★主な主催公演</p>		<p>★主な主催公演</p>
<p>1日 小ホール</p>	<p>モーニングコンサート納涼スペシャル(灼熱の香り〜弦楽五重奏で聴く夏の情景〜) 開演:11:00(10:30開場) 出演:瀧村依里(ヴァイオリン)、小関郁(ヴァイオリン)、富田大輔(ヴィオラ)、伊藤文嗣(チェロ)、高橋洋太(コントラバス) 曲目:ヴィヴァルディ/ヴァイオリン協奏曲集「四季」より「夏」 ほか 料金:全席自由500円</p>	<p>3日〜9月1日 シアターウエスト</p> <p>eyes plus マームとジプシー「cocoon」 原作:今日マチ子 作・演出:藤田貴大 出演:青柳いつみ/伊東那那/大岩さや/尾崎紅ほか 料金:予約 ¥4,000、当日4,500円ほか</p>
<p>3日 小ホール</p>	<p>青少年のための舞台芸術体験プログラム はじめての楽しいコンサート ◎ 開演:14:00(13:30開場) 出演:白石光隆(ピアノ)、大熊理津子(マリンバ) 曲目:サラサーテ/ツィゴイネルワイゼン ほか 料金:入場無料(事前申込制:7月5日締切)</p>	<p>5日〜15日 シアターイースト</p> <p>東京芸術劇場ナイトタイム・バイブルガンコンサート 開演:19:30(18:30ロビー開場) 出演:小林英之(オルガン)、緒方恵(ヴァイオリン) 料金:全席指定1,000円</p>
<p>20日 大ホール</p>	<p>第11回東京音楽コンクール 本選 ピアノ部門 開演:18:00(17:30開場) 出演:梅田俊明(指揮)、日本フィルハーモニー交響楽団 料金:全席自由2,000円</p>	<p>23日〜25日 プレイハウス</p> <p>ハロー・ドーリー! 脚本:マイケル・スチュアート 作詞・作曲:ジェリー・ハーマン 振付・演出:ロジャー・カステヤノ 訳詞・演出:寺崎秀臣 出演:剣幸、モト冬樹/本間憲一、井科瑠美、野田久美子、藤岡義樹ほか 料金:一般8,000円ほか</p>
<p>22日 大ホール</p>	<p>第11回東京音楽コンクール 本選 弦楽部門 開演:18:00(17:30開場) 出演:飯森範親(指揮)、東京交響楽団 料金:全席自由2,000円</p>	<p>24日〜25日 シアターイースト</p> <p>オックスフォード大学演劇協会(OUDS)来日公演 間違った喜劇 作:ウィリアム・シェイクスピア 演出・出演:オックスフォード大学演劇協会(OUDS) 料金:一般2,500円、学生2,000円、高校生1,000円(全席指定)</p>
<p>24日 大ホール</p>	<p>第11回東京音楽コンクール 本選 木管部門 開演:18:00(17:30開場) 出演:円光寺雅彦(指揮)、東京フィルハーモニー交響楽団 料金:全席自由2,000円</p>	<p>27日 コンサートホール エントランス</p> <p>東京芸術劇場ティータム・コンサート vol.1 開演:14:00(13:30開場) 出演:原田靖子(ポジティブオルガン) 料金:全席自由 無料</p>
<p>25日 大ホール</p>	<p>第11回東京音楽コンクール 本選 声楽部門 開演:18:00(17:30開場) 出演:佐藤正浩(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 料金:全席自由2,000円</p>	<p>3 Sat- Sep 1 Sun Theatre West</p> <p>Nito-sha Ani Kaeru (or the eldest son returns) Text and Direction: Ai Nagai Admission: Adult: ¥5,500, Under 25: ¥ 3,000, etc.</p>
<p>1 Thu Recital Hall</p>	<p>Morning Concert Summer Special Start:11:00 Performer: Eri Takimura(Violin), Fumi Koseki (Violin), Daisuke Tomita(Viola), Fumitsugu Ito(Cello), Yota Takahashi (Contrabass) Admission:¥500</p>	<p>5 Mon- 15 Thu Theatre East</p> <p>eyes plus mum and gypsy "cocoon" Original: Machiko Kyo Text / Direction: Takahiro Fujita Admission: Reservation ticket: ¥4,000 / Adult: ¥4,500, etc.</p>
<p>3 Sat Recital Hall</p>	<p>The First Concert for Preschool Children(3-6 years old) and their family Start:14:00 Performer: Mitsutaka Shiraiishi (Piano), Ritsuko Okuma (Marimba) Admission: Free (required registration in advance)</p>	<p>8 Thu Concert Hall</p> <p>Tokyo Metropolitan Theatre Nighttime Organ Concert Performer: Hideyuki Kobayashi(Organ) Megumi Ogata (Violin) Admission: ¥1,000 (all reserved-seats)</p>
<p>20 Tue Main Hall</p>	<p>The 11th Tokyo Music Competition 2013: The final round (Piano) Start:18:00 Performer: Toshiaki Umeda(Conductor), The Japan Philharmonic Orchestra Admission: ¥2,000</p>	<p>23 Fri- 25 Sun Playhouse</p> <p>Hello Dolly! Text: Michael Stewart Zyrcis / Music: Jerry Herman Choreography-Direction: Roger Castellano Translation-Direction: Hideomi Terasaki Special Performer: Toyama Technical High School Brass Band Admission: Adult: ¥8,000, etc.</p>
<p>22 Thu Main Hall</p>	<p>The 11th Tokyo Music Competition 2013: The final round (String) Start:18:00 Performer: Norichika Iimori(Conductor), The Tokyo Symphony Orchestra Admission: ¥2,000</p>	<p>24 Sat- 25 Sun Theatre East</p> <p>Oxford University Dramatic Society Japan Tour 2013 The Comedy of Errors Text: William Shakespeare Direction / Performer: Oxford University Dramatic Society Admission: Adult: ¥2,500, University Student: ¥ 2,000, High school student: ¥1,000 (all reserved-seats)</p>
<p>24 Sat Main Hall</p>	<p>The 11th Tokyo Music Competition 2013: The final round (Wind wood) Start:18:00 Performer: Masahiko Enkoji (Conductor), Tokyo Philharmonic Orchestra Admission: ¥2,000</p>	<p>27 Tue Concert Hall Entrance</p> <p>Tokyo Metropolitan Theatre, Teatime Concert vol.1 Performer: Yasuko Harada(Positive organ) Admission: Free</p>
<p>25 Sun Main Hall</p>	<p>The 11th Tokyo Music Competition 2013: The final round (Vocal) Start:18:00 Performer: Masahiro Sato (Conductor), The New Japan Philharmonic Admission: ¥2,000</p>	

<p>★主な主催公演</p>	
<p>2日〜7日 プレイハウス</p>	<p>シレンシオ 作・演出:小野寺修二 出演:原田知世/梶原晓子/川合コン/藤田桃子/小野寺修二/首藤康之 料金:S席(1階)6,800円 A席(2階)6,300円/中高生シート1,000円</p>
<p>10日〜28日 シアターイースト</p>	<p>Roots Vol. 1 ストリッパー物語 ◎ 作:つかこうへい 構成・演出:三浦大輔 出演:リリー・フランキー、渡辺真起子/渋谷清彦、安藤聖、古澤裕介、新田めぐみ、米村亮太郎、門脇麦/でんでん 料金:一般5,500円、高校生割引1,000円、25歳以下3,500円、65歳以上4,000円</p>
<p>25日 コンサートホール</p>	<p>東京芸術劇場ランチタイム・バイブルガンコンサート Vol.101 開演:12:15(11:45開場) 出演:小林英之、新山恵理、平井靖子(オルガン) 料金:全席自由 無料</p>
<p>2 Tue- 7 Sun Playhouse</p>	<p>Silencio Text and Direction: Shuji Onodera Admission: S seats (1F): ¥6,800, A seats (2F): ¥6,300, Junior high and High school students: ¥1,000</p>
<p>10 Wed- 28 Fri Theatre East</p>	<p>Roots Vol. 1 A Stripper's Tale ◎ Text: Kohei Tsuka Composition, Direction: Daisuke Miura Admission: Adult: ¥5,500, High school students: ¥1,000, Under 25: ¥3,500, 65 and over: ¥4,000</p>
<p>25 Thu Concert Hall</p>	<p>Tokyo Metropolitan Theatre, Lunchtime Organ Concert 100 Admission: Free</p>

<p>19日〜25日 シアターイースト</p>	<p>芸劇eyes キリンバズウカ「マチワビ」 作・演出:登米裕一 出演:日栄洋祐、こいけけいこ/加藤理恵、上鶴徹、黒岩三佳、後藤剛範(国分寺大人倶楽部)、永島敬三(柿食う客)、松永渚、森下亮(クロムモリブデン)/内田悠一(レボリューションズ)、折原アキラ(青年団)、金聖香(SET)、坂田麻衣、助川紗和子、渡邊亮 料金:前売指定3,500円、当日指定3,800円、前売・当日指定 高校生以下1,000円</p>
<p>26日 コンサートホール</p>	<p>東京芸術劇場ランチタイム・バイブルガンコンサート Vol.101 開演:12:15(11:15開場) 出演:永瀬真紀(オルガン) 料金:全席自由500円</p>
<p>Aug 3 Sat- 1 Sun Theatre West</p>	<p>Nito-sha Ani Kaeru (or the eldest son returns) Text and Direction: Ai Nagai Admission: Adult: ¥5,500, Under 25: ¥ 3,000, etc.</p>
<p>6 Fri- 8 Sun Playhouse</p>	<p>Geigeki dance Saburo Teshigawara's new program "Second Fall" Direction, choreography, Stage Design, Lighting: Saburo Teshigawara Casts: Saburo Teshigawara, Rihoko Sato, Jeef Admission: S seat: ¥5,500, A seat: ¥4,000, aged 65 and over: ¥4,500, under 25 and younger: ¥3,000</p>
<p>12 Thu- 16 Mon Theatre East</p>	<p>Geigeki eyes Extra "God save the Queen" ◎ Casts: Yoko Oike (Usagi Stripe), Aya Takaha (Takaha Gekidan), Kaori Nishio (Bird Park), Fuki Toriyama (wawafamingo), Satoko Ichihara (Q) Admission: Advance ticket: ¥2,500 / Adult: ¥2,800</p>
<p>13 Fri Concert Hall</p>	<p>Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Opera vol.1 Opera "Bluebeard's Castle" Conductor: Michiyoshi Inoue / Tokyo Philharmonic Orchestra Performer: Kovács István(bass) / Meláth Andrea(Mez) / Tatsuya Nakadai(wandering minstrel) Admission: S seats: ¥6,500 / A seats: ¥5,500 / B seats: ¥4,000 / C seats: ¥3,000 / D seats: ¥2,000 (all reserved-seats)</p>
<p>19 Thu- 25 Wed Theatre East</p>	<p>Geigeki eyes KIRIN BAZOOKA "Machiwabi" Casts: Yosuke Hiei, Keiko Koike / Rie Kato, Toru Kamitsuru, Mika Kuroiwa, Takenori Goto (Kokubunji Otona Club), etc. Admission: advance reserved sheet: ¥3,500, reserved on the day: ¥3,800, Advance/reserved on the day for under 18 years old: ¥1,000</p>
<p>26 Thu Concert Hall</p>	<p>Tokyo Metropolitan Theatre, Lunchtime Organ Concert 101 Performer: Maki Nagase(Organ) Admission: ¥500</p>